

Ⅱ 農業

1 農業の概要

(1) 農家数

専業農家の割合は県計で50.3%、八重山地域で43.8%となっている。地域別に見ると、宮古(54.9%)が最も高く、次いで本島北部(53.7%)、本島中南部(46.0%)、八重山の順となっている。また、兼業農家の割合は、八重山(56.2%)が最も高く、次いで本島中南部(54.0%)、本島北部(46.3%)、宮古(45.1%)の順となっている。

農家数及び総人口の全県に占める地域別割合を見ると、本島中南部は総人口の割合に比べ農家数の割合は非常に低く、それとは対照的に宮古、本島北部、八重山においては農家数の割合が高く、これらの地域は農業への依存度が高いことを示している。

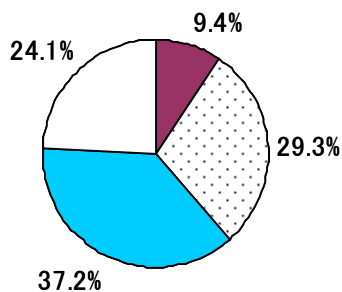
専業・兼業別農家(販売農家)数

地域	区分	販売農家総数	専業農家数	兼業農家数		
				計	第一種	第二種
県	計	15,123 (100%)	7,594 (50.2%)	7,529 (49.8%)	2,728 (18.0%)	4,801 (31.7%)
八重山	計	1,426 (100%)	625 (43.8%)	801 (56.2%)	321 (22.5%)	480 (33.7%)
	石垣市	965 (100%)	399 (41.3%)	566 (58.7%)	252 (26.1%)	314 (32.5%)
	竹富町	292 (100%)	186 (63.7%)	106 (36.3%)	44 (15.1%)	62 (21.2%)
	与那国町	169 (100%)	40 (23.7%)	129 (76.3%)	25 (14.8%)	104 (61.5%)
宮古	計	4,419 (100%)	2,426 (54.9%)	1,993 (45.1%)	700 (15.8%)	1,293 (29.3%)
本島	中南部	5,634 (100%)	X	X	X	X
	北部	3,644 (100%)	1,955 (53.6%)	1,689 (46.4%)	625 (17.2%)	1,064 (29.2%)

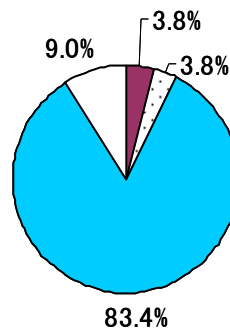
地域	区分	県計	八重山	宮古	本島中南部	本島北部
農家数の割合		100%	9.4%	29.2%	37.3%	24.1%
総人口の割合		100%	3.8%	3.8%	83.4%	9.0%

資料：2010年世界農林業センサス、平成22年国勢調査

農家数の割合



総人口の割合



■ 八重山 □ 宮古 ■ 本島中南部 □ 本島北部

(2) 経営耕地面積規模別経営体数

各圏域の経営耕地面積規模ごとの経営体数の割合を比較すると、5ha以上経営する農家数は、各圏域では5%以下であるが、八重山では20%を超えている。それを八重山圏域内で見ると竹富町が34.8%で最も大きく、次いで石垣市の18.8%、与那国町の18.3%となっている。

八重山圏域の農家数を平成17年(1,741人)と比べると、農家戸数は平成22年(1,427人)は314戸減少したが、5ha以上の経営体の割合は21.9%で前回農家数調査の18.9%を上回った。

経営耕地面積規模別経営体数

単位:経営体

地域	区分	総経営体数	1ha未満	1～2ha	2～3ha	3～5ha	5ha以上
県	計	15,820 (100%)	8,347 (52.8%)	3,702 (23.4%)	1,593 (10.1%)	1,237 (7.8%)	941 (5.9%)
八重山	計	1,474 (100%)	329 (22.3%)	319 (21.6%)	225 (15.3%)	278 (18.9%)	323 (21.9%)
	石垣市	992 (100%)	221 (22.3%)	231 (23.3%)	166 (16.7%)	188 (19.0%)	186 (18.8%)
	竹富町	296 (100%)	29 (9.8%)	46 (15.5%)	40 (13.5%)	78 (26.4%)	103 (34.8%)
	与那国町	186 (100%)	79 (42.5%)	42 (22.6%)	19 (10.2%)	12 (6.5%)	34 (18.3%)
宮古	計	4,505 (100%)	1,193 (26.5%)	1,658 (36.8%)	856 (19.0%)	572 (12.7%)	226 (5.0%)
本島	中南部	5,996 (100%)	4,500 (75.1%)	827 (13.8%)	220 (3.7%)	199 (3.3%)	247 (4.1%)
	北部	3,845 (100%)	2,323 (60.4%)	898 (23.4%)	291 (7.6%)	188 (4.9%)	145 (3.8%)

八重山の農家数と経営規模

区分	年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
農家戸数		2,466戸	2,335戸	2,049戸	1,741戸	1,426戸
一戸当たり経営規模 (ha)		3.35	3.64	3.96	3.00	3.90

資料:農業センサス、2010年世界農林業センサス

注1:農業経営体とは、1、経営耕地面積が30アール以上の規模の農業、2、農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数その他の事業の規模が基準以上の規模の農業、3、農作業の受託の事業のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

注2:農家戸数及び一戸当たり経営規模については、平成17年より、農林業センサスの販売農家数、及び販売農家経営耕地面積を用いて算出することとしており、平成12年以前の一戸当たり経営規模とは、データの連続性がない。

(3) 年齢別農業就業人口

八重山の農業就業人口は1,867人であり、平成17年(2,618人)の調査より751人減少した。減少率は28.7%で平成2年以降で最も高くなっている。

一方、21世紀の農業を担う29歳以下の若年層については、平成2年に6.9%を占めていたのが、平成22年には3.0%と全農業就業人口に占める若年層の割合は低い状況である。

特に、離島地域においては深刻であり、竹富町で18名、与那国町で4名と農業の担い手不足が大きな課題となっている。

年齢別農業就業人口(販売農家)

単位:人

区分		計	15~29歳	30~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳以上
県計	平成17年	28,976 (100%)	1,355 (4.7%)	4,098 (14.1%)	4,595 (15.9%)	3,171 (10.9%)	15,757 (54.4%)
	平成22年	22,638 (100%)	554 (2.4%)	2,671 (11.8%)	4,402 (19.4%)	2,667 (11.8%)	12,344 (54.5%)
八重山計	昭和55年	3,976 (100%)	495 (12.4%)	1,200 (30.2%)	1,041 (26.2%)	482 (12.1%)	758 (19.1%)
	平成2年	3,877 (100%)	231 (6.0%)	905 (23.3%)	1,014 (26.2%)	631 (16.3%)	1,096 (28.3%)
	平成7年	3,361 (100%)	159 (4.7%)	734 (21.8%)	618 (18.4%)	601 (17.9%)	1,249 (37.2%)
	平成12年	3,095 (100%)	171 (5.5%)	632 (20.4%)	442 (14.3%)	452 (14.6%)	1,398 (45.2%)
	平成17年	2,618 (100%)	137 (5.2%)	426 (16.3%)	443 (16.9%)	275 (10.5%)	1,337 (51.1%)
	平成22年	1,867 (100%)	56 (3.0%)	240 (12.9%)	425 (22.8%)	234 (12.5%)	912 (48.8%)
石垣市	平成17年	1,982 (100%)	103 (5.2%)	282 (14.2%)	343 (17.3%)	228 (11.5%)	1,026 (51.8%)
	平成22年	1,304 (100%)	34 (2.6%)	147 (11.3%)	276 (21.2%)	173 (13.3%)	674 (51.7%)
竹富町	平成17年	527 (100%)	25 (4.7%)	120 (22.8%)	82 (15.6%)	42 (8.0%)	258 (49.0%)
	平成22年	418 (100%)	18 (4.3%)	67 (16.0%)	121 (28.9%)	38 (9.1%)	174 (41.6%)
与那国町	平成17年	109 (100%)	9 (8.3%)	24 (22.0%)	18 (16.5%)	5 (4.6%)	53 (48.6%)
	平成22年	143 (100%)	4 (2.8%)	24 (16.8%)	28 (19.6%)	23 (16.1%)	64 (44.8%)

資料:2010年世界農林業センサス

注1:八重山計の平成2年は販売農家に占める農業就業人口、平成17年は農業経営体のうちの家族経営で表している。

注2:農業経営体のうち家族経営とは、農業経営体のうち個人経営体(農家)及び法人経営体のうち、一戸一人のことである。

(4) 耕地面積

八重山の農用地は、平成5年以降は減少傾向が続いており、平成5年の8,660haから平成25年には8,010haと減少している。

特色として、田が全県の57.8%を占めていることがあげられる。

地域	区分	市町村面積(km ²)	耕地面積(ha)	耕地率(%)	田(ha)	畑(ha)			
						小計	普通畑	樹園地	牧草地
県	計	2,276	38,800 (100)	17.0	851 (100)	38,100 (100)	30,100	1,980	5,970
八重山	計	592	8,010 (20.6)	13.5	492 (57.8)	7,520 (19.7)	—	—	—
	石垣市	229	5,400	23.6	325	5,080	—	—	—
	竹富町	334	2,070	6.2	82	1,980	—	—	—
	与那国町	29	548	19.0	85	463	—	—	—
宮古	計	227	11,800 (30.4)	52.0	—	11,800	—	—	—
沖縄本島	中南部	633	11,480 (29.6)	18.1	47 (5.5)	11,440	—	—	—
	北部	824	7,580 (19.5)	9.2	312 (36.7)	7,260	—	—	—

資料:第42次沖縄農林水産統計年報、農林水産省「作物統計調査 耕地面積調査」、国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町別面積調査」

注1:ラウンドの結果、計と内訳が一致しない場合がある。

注2:石垣市の面積には、尖閣諸島の面積(5.56km²)を含む。

注3:平成19年調査より畑の種類別の地域別とりまとめなし。

八重山の耕地面積推移

単位: ha

年度	区分	計	田	畑			
				小計	普通畑	樹園地	牧草地
平成9年		8,310	534	7,780	4,770	348	2,660
平成12年		8,120	515	7,600	4,320	210	3,070
平成15年		8,200	524	7,660	4,340	269	3,070
平成18年		8,130	518	7,610	4,430	290	2,890
平成21年		8,060	522	7,540	—	—	—
平成22年		8,100	516	7,580	—	—	—
平成23年		8,100	503	7,590	—	—	—
平成24年		8,010	492	7,520	—	—	—
平成25年		8,010	492	7,520	—	—	—

資料: 第42次沖縄農林水産統計年報

注: 平成19年調査より畑の種類別の統計データ公表なし。

2 農作物

(1) さとうきび

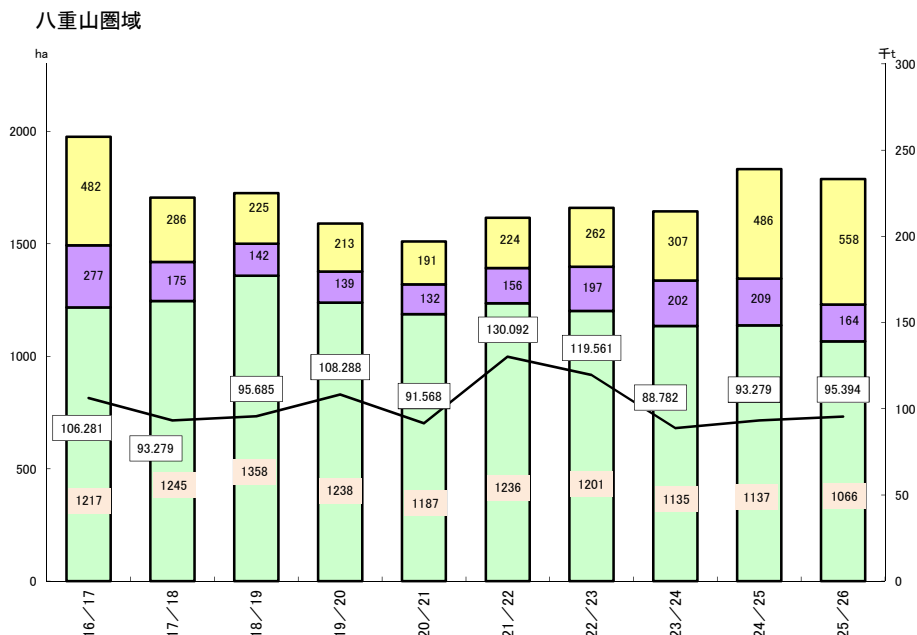
- 1) 八重山地域における平成25/26年期のさとうきび生産量は95,394tで、前期に対して2,115t(2.3%)の増となった。収穫面積は1,788tと前期より44ha減少したが、10a当たり収量は5,336kgと台風7号の被害があったものの、前期より243kg増加した。

県全体に占める生産量の割合は14.4%であり、前年より0.6%増加した。作型別では、八重山地域全体の生産量に占める生産量に占める夏植の割合は73.0%(前期69.3%)、春植え6.2%(前期9.6%)、株出し20.8%(前期21.1%)である。台風被害に強く安定した収入が確保できる夏植を主流とし、土壌害虫等に対して効果的な防除農薬の普及により安定した株出し栽培が可能となった。

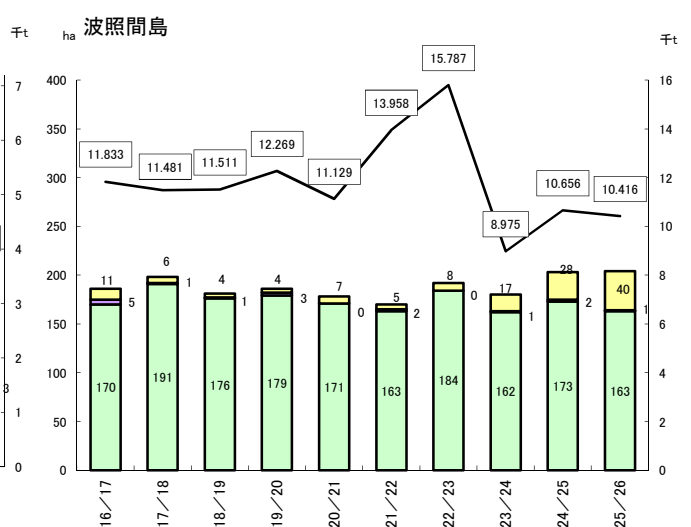
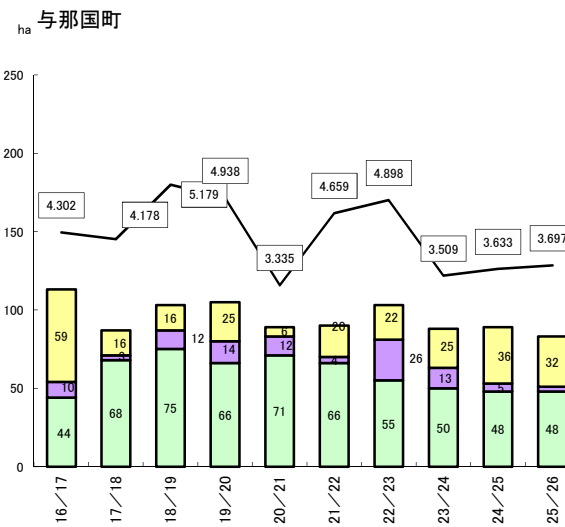
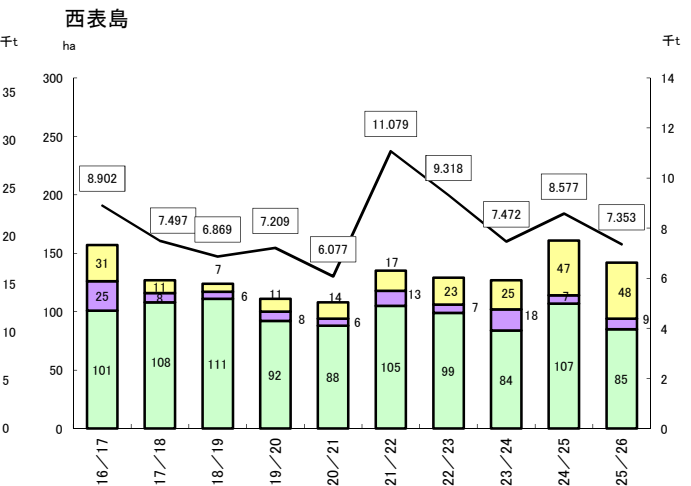
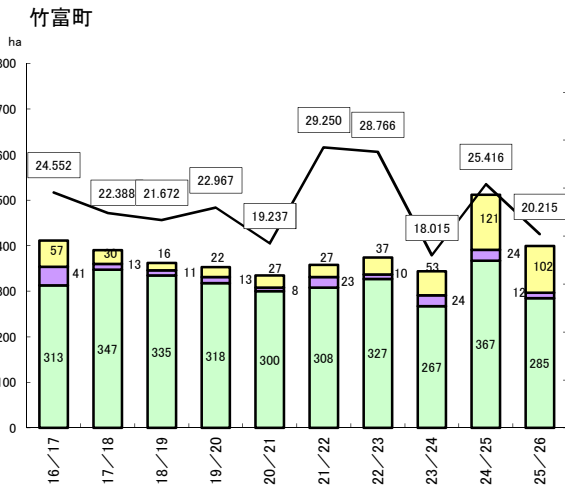
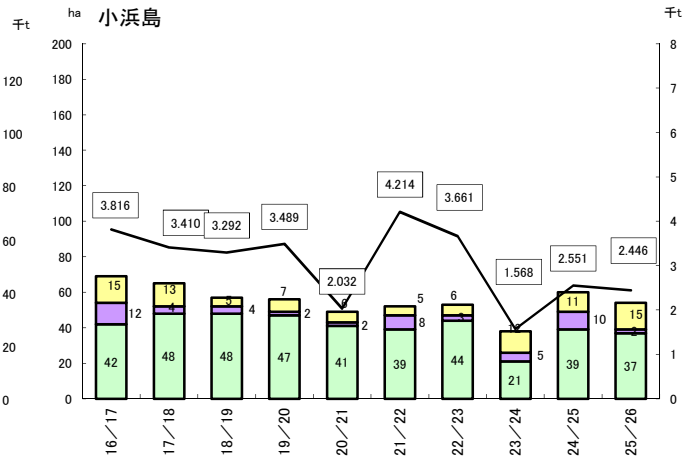
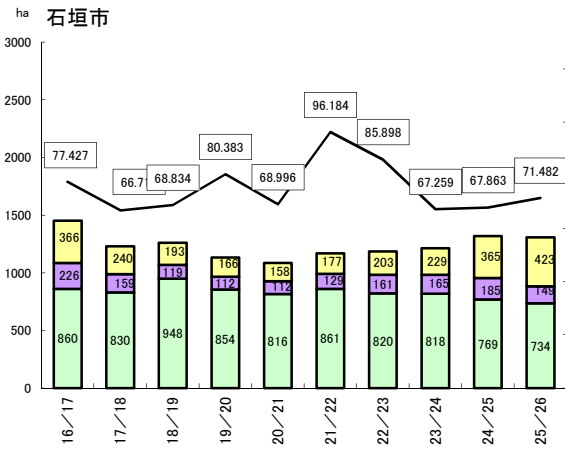
- 2) さとうきび原料の工場買い入れ価格は、平成6年度から甘蔗糖度を基準とした品質取引へと移行された。

八重山地域の平均甘蔗糖度は、分みつ糖が14.7度、含みつ糖15.2度で、平均が14.8度となり、前年度14.7度と同程度である。農家手取額はトン当たり、22,414円となり、前期の21,824円よりやや増額となった。

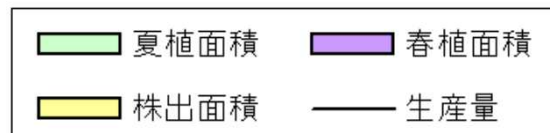
さとうきびの作型別収穫面積、生産量の推移



地域別の推移



資料:「さとうきび及びびん甘しゃ糖生産実績」
沖縄県農林水産部



平成25/26年製糖実績

工場名	製糖期間			製糖実績			前期(24/25)実績		
	製糖開始	製糖終了	製糖日数	原料処理量	歩留(%)	産糖量	原料処理量	歩留(%)	産糖量
県計	—	—	—	682,794	11.96	81,679	675,346	12.33	83,269
石垣島製糖	H26.1.8	H26.4.15	98	71,482	12.21	8,725	67,863	12.43	8,434
JA小浜製糖工場	H26.1.17	H26.3.19	62	2,446	14.16	346	2,551	14.34	366
西表糖業	H25.12.6	H26.3.25	104	7,353	14.52	1,068	8,577	14.84	1,273
波照間製糖	H26.1.18	H26.4.29	102	10,416	15.13	1,575	10,656	15.14	1,613
JA与那国支店工場	H26.1.29	H26.3.31	63	3,697	12.58	465	3,633	12.39	450
八重山計	—	—	—	95,394	—	12,179	93,280	—	12,136

資料:「さとうきび及び甘しや糖生産実績」沖縄県農林水産部 平成26年8月

平成25/26期 さとうきび品質取引実績

工場名	甘蔗糖度(度)			甘蔗糖度区分ごとの重量、比率(t, %)							
				13.0度以下		13.1~13.6		13.7~14.3		14.4度以上	
	平均	最低	最高	重量	比率	重量	比率	重量	比率	重量	比率
県計	14.4	7.5	19.5	92,020	13.5	93,132	13.6	147,604	21.6	35,038	51.3
石垣島製糖	14.7	10.4	18.5	4,211	5.9	6,687	9.4	14,650	20.5	45,934	64.3
JA小浜製糖工場	14.8	7.5	18.3	89	3.6	165	6.8	529	21.6	1,663	68.0
西表糖業	15.2	11.6	18.2	47	0.6	383	5.2	1,049	14.3	5,872	79.9
波照間製糖	15.9	12.6	18.9	38	0.4	222	2.1	529	5.1	9,626	92.4
JA与那国支店工場	13.4	7.5	16.7	1,340	36.2	652	17.6	828	22.4	877	23.7
八重山計	—	7.5	18.9	5,725	6.0	8,110	8.5	17,586	18.4	63,973	67.1

資料:「平成25年産(25/26年産) さとうきび品質・生産実績」(社)沖縄県糖業振興協会 平成26年7月

平成25/26年製糖 さとうきび作型別生産実績

工場名	夏植			春植			株出			合計			前期(24/25)合計		
	収穫面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)	収穫面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)	収穫面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)	収穫面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)	収穫面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)
県計	4,778 (38.1)	7,162	342,214 (50.1)	1,264 (10.1)	4,191	52,961 (7.8)	6,493 (51.8)	4,430	287,619 (42.1)	12,535 (100.0)	5,447	682,794 (100.0)	12,996 (100.0)	5,197	675,346 (100.0)
沖縄本島	772 (13.1)	5,567	43,007 (16.5)	809 (13.7)	3,866	31,282 (12.0)	4,307 (73.1)	4,335	186,691 (71.5)	5,888 (100.0)	4,432	260,980 (100.0)	6,459 (100.0)	3,971	256,500 (100.0)
石垣島製糖	734 (56.2)	6,848	50,231 (70.3)	149 (11.4)	3,639	5,436 (7.6)	423 (32.4)	3,739	15,815 (22.1)	1,306 (10.4)	5,474	71,482 (10.5)	1,319 (10.1)	5,145	67,863 (10.0)
竹富町小浜製糖工場	37 (68.5)	5,506	2,063 (84.3)	2 (3.7)	2,141	45 (1.8)	15 (27.8)	2,291	338 (13.8)	54 (0.4)	4,502	2,446 (0.4)	60 (0.5)	4,273	2,551 (0.4)
西表糖業	85 (60.3)	6,200	5,242 (71.3)	9 (6.4)	3,775	321 (4.4)	48 (34.0)	3,721	1,790 (24.3)	141 (10.8)	5,209	7,353 (1.1)	161 (12.2)	5,324	8,577 (1.3)
波照間製糖	163 (80.3)	5,801	9,434 (90.6)	1 (0.5)	3,179	38 (0.4)	40 (19.7)	2,389	944 (9.1)	203 (1.6)	5,122	10,416 (1.5)	202 (1.6)	5,264	10,656 (1.6)
JA与那国支店工場	48 (57.8)	5,604	2,695 (72.9)	3 (3.6)	1,886	51 (1.4)	32 (38.6)	2,961	950 (25.7)	83 (0.7)	4,459	3,697 (0.5)	89 (0.7)	4,066	3,633 (0.5)
八重山計	1,066 (59.6)	6,533	69,665 (73.0)	164 (9.2)	3,595	5,891 (6.2)	558 (31.2)	3,558	19,838 (20.8)	1,788 (14.3)	5,336	95,394 (14.0)	1,832 (14.1)	5,093	93,279 (13.8)

資料:「さとうきび及び甘しや糖生産実績」沖縄県農林水産部 平成26年8月

注:(斜体)は、合計は県計に対するもので、作型別は各地域内の比率である。

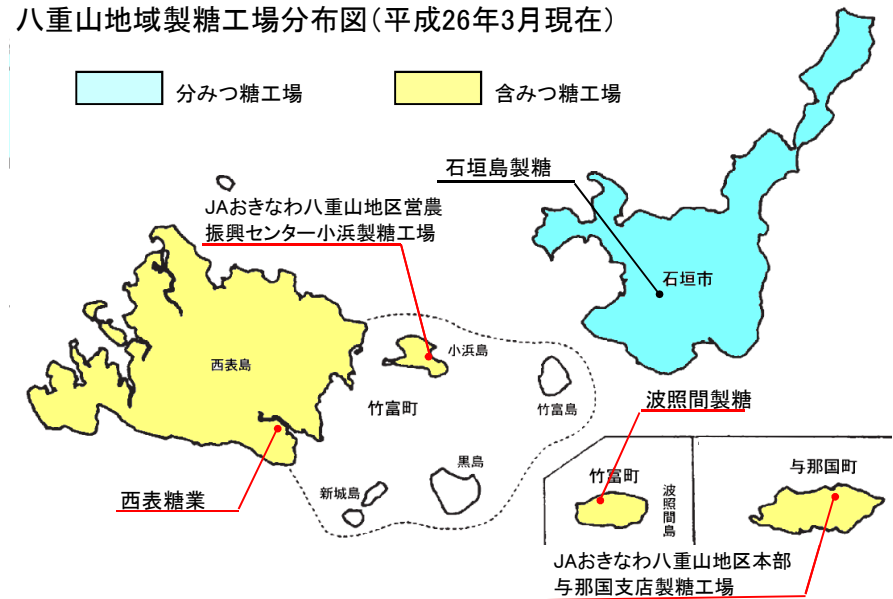
四捨五入による端数調整のため合計と内訳が合わない場合がある。

さとうきび農家手取額の推移(円/トン)

年期	分みつ糖(石垣市)			含みつ糖 (竹富町)	含みつ糖 (与那国町)
	計	甘味資源作物 交付金	取引価格		
20/21	21,988	16,320	5,668	23,773	20,288
21/22	22,299	16,320	5,979	23,855	21,721
22/23	22,299	16,320	5,626	21,935	19,698
23/24	21,946	16,000	5,576	22,365	19,523
24/25	21,576	16,000	5,558	21,991	19,805
25/26	22,542	16,320	6,222	22,393	20,051

資料:「さとうきび及びび甘しゅ糖生産実績」 沖縄県農林水産部 平成26年8月

八重山地域製糖工場分布図(平成26年3月現在)



(2) 水 稻

八重山地域は、県内稲作の主要産地である。平成25年の水稲作付面積は一期、二期合わせて612haと県全体の69%を占め、収穫量は1,475tと県全体の62%を占めている。

一期作の10a当たり収量は305kgで、県平均の332kgよりも若干低い。二期作は9月上旬までの植え付けのため台風被害を受ける可能性が高く、収量・歩留まりが低い等の理由により、一期作の半分程度の作付となっている。

温暖な気候を活かし、一期作は6月前後に新米を出荷できる「超早場米」として、他の産地より有利販売が可能である。主要品種は、食味に優れた「ひとめぼれ」が生産されており、黒紫米や低アミロース米の生産もみられる。消費者の食の安全性への関心の高まりもあり、エコファーマー認定、特別栽培農産物の認証を受けるなど、多様な消費者ニーズに対応した米作りが行われている。



水稲の収穫



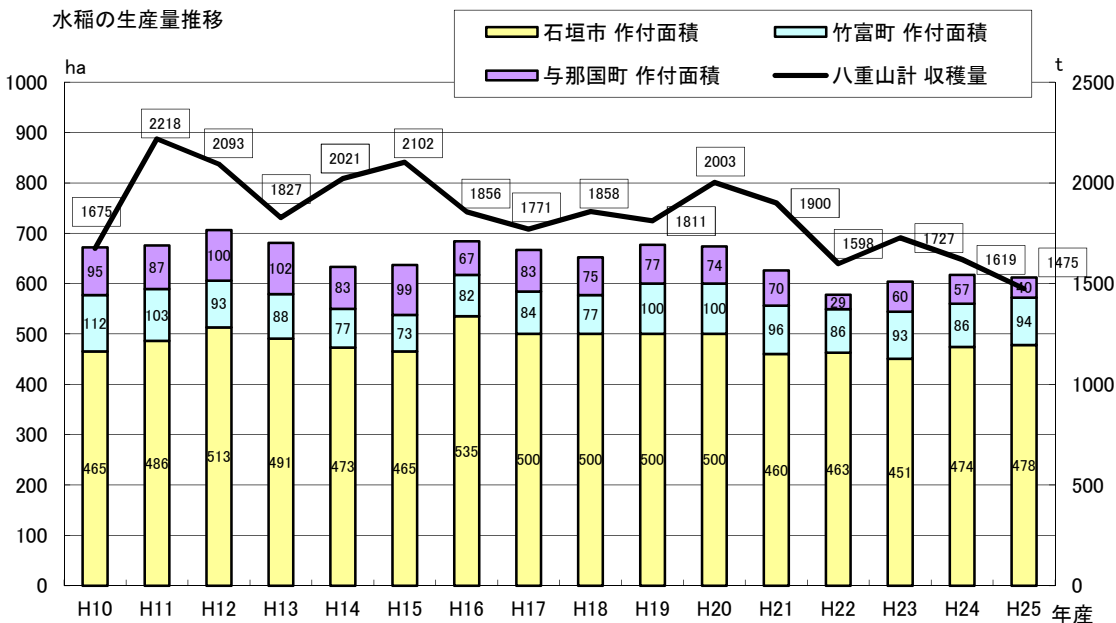
主要品種：ひとめぼれ

平成25年産水稻の生産実績

	作付面積(ha)			10aあたり収量(kg)			収穫量(t)		
	計	1期作	2期作	計	1期作	2期作	計	1期作	2期作
県計	890	596	294	268	332	137	2,390	1,980	403
石垣市	478	290	188	249	324	133	1,190	940	250
竹富町	94	66	28	230	299	66	216	197	18
与那国町	40	40	-	172	172	-	69	69	-
八重山計	612 (68.8)	396 (66.4)	216 (73.5)	241	305	124	1,475 (61.7)	1,206 (60.9)	268 (66.5)

資料: 第42次沖縄県農林水産統計年報

注: 斜体は県計に占める割合



資料: 第42次沖縄農林水産統計年報

(3) 野菜

八重山地域の野菜生産は、平成5年のウリミバエ根絶を契機に、すいか、かぼちゃ、オクラ、さといも等、温暖な気候特性を活かした冬春期の県外出荷を中心に伸展してきたが、近年は台風被害や市場単価の低迷などで生産が伸び悩んでいる。平成22年産野菜作付面積は98ha、収穫量は1,613tと横ばい状況にあり、県外出荷は、オクラ、かぼちゃ、さやいんげん、ゴーヤーの4品目が中心である。

平成11年にかぼちゃ、平成17年にさやいんげんとオクラの産地協議会が設立され、平成18年に石垣市のオクラ、平成26年に竹富町のかぼちゃが拠点産地に認定された。平成25年3月に竹富町、同7月に石垣市が園芸作物等産地協議会として統合し更なる八重山産ブランドの確立を推進している。

平成23年には、JAファーマーズマーケットやえやま「ゆらていく市場」が開設され、より新鮮で多様な野菜類の生産と供給が可能になり、地域の活性化に大きく寄与している。また、平成24年から26年にかけて、施設整備が重点的に進められ、ゴーヤー等の施設栽培が増加している。



オクラ栽培状況



かぼちゃ栽培状況



ゴーヤー栽培状況

(4) パインアップル

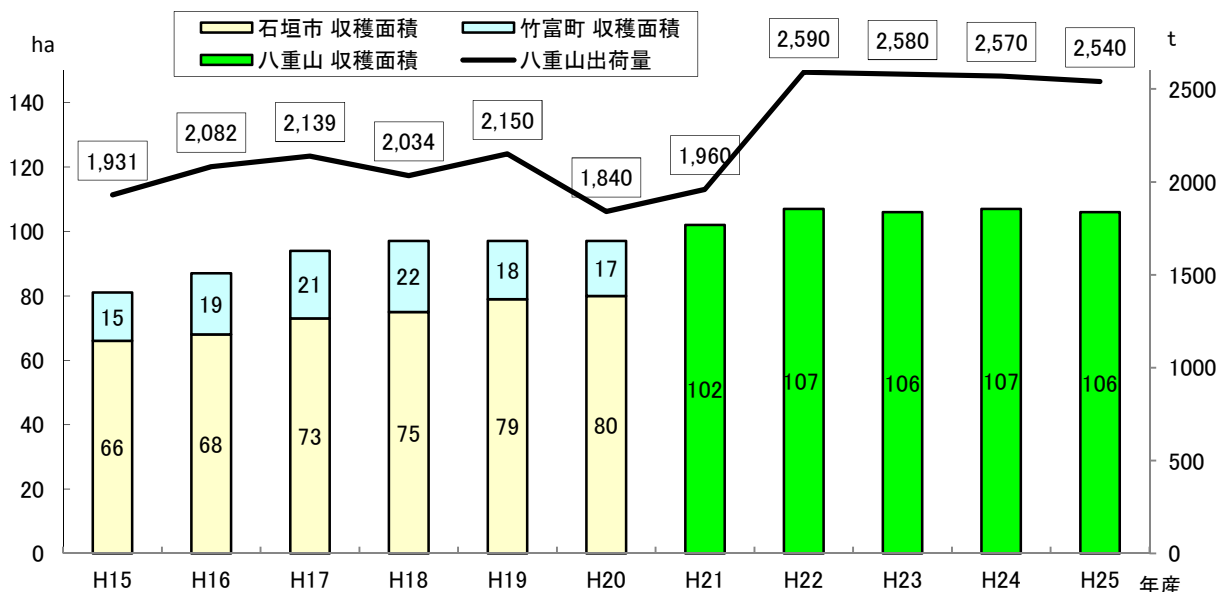
八重山地域の平成25年産パインアップルの栽培状況は、収穫面積が106ha、収穫量は2,660 tで前年とほぼ同一で、そのほとんどが生食仕向けである。県内に占める八重山のシェアは、収穫面積で34%、出荷量で40%である。平成21年度出荷量が1,960 tであったが、平成22年度以降は2,600 t程度で推移している。栽培品種は、既存のハワイ種、ソフトタッチ、ボゴールで、新品種のジュリオスターやゴールドバレルの種苗が供給されつつある。

平成25年産パインアップル生産状況

	収穫面積 (ha)	10a当たり 収量(kg)	収穫量 (t)	出荷量(t)		
				計	生食向け	加工向け
県計	311	2,120	6,590	6,410	4,310	2,100
沖縄本島	203	1,920	3,900	3,840	1,880	1,960
八重山	106 (34.1)	2,510	2,660 (40.4)	2,540 (39.6)	2,400 (55.7)	140 (6.7)

資料:「作物統計」農林水産省 注:(斜体)は県計に占める割合

八重山地域パインアップルの生産量推移



資料:「作物統計」農林水産省 注:平成21年度以降、市町村別公表がされていない
「離島関係資料」沖縄県企画部

	ハワイ種	ソフトタッチ	ボゴール
成熟期	八重山地域で7月中旬	八重山地域で6月中旬	八重山地域で6月中旬
平均果実重	約1,000g	約800g	約800g
果形	たる型	たる型	たる型
果肉	黄白色	帯黄白色	黄色
食味	糖度は15%、酸度は0.9% 甘酸っぱい食味で、果汁が豊富	糖度は17%、酸度は0.7% 桃のような独特の香りがあり、さわやかな食味が特徴	糖度は17%、酸度は0.8% 酸の抜けがよいため、甘みを強く感じる
栽培	栄養芽の発生がよいため、2回収穫が可能。花芽誘導処理は効きにくい	栄養芽の発生が良いため、2回収穫が可能。花芽誘導処理が効きやすい	栄養芽の発生が良いため、2回収穫が可能。花芽誘導処理が効きやすい
その他	加工生食兼用。沖縄県の主要な栽培品種	生食用。黒目病発症率が他品種より高い	生食用。草本や冠葉にとげがある

資料提供:農業研究センター石垣支所

(5) 花き

八重山地域の花き生産は、温暖な気候を活かし、レッドジンジャー、ヘリコニア、洋ラン、切葉類等の夏季県外出荷品目を中心に取り組みられている。平成24年の花き栽培面積は11h aで、切り花類の出荷数量が168万本であり、前年より面積、出荷数量とも増加した。

ヘリコニア、レッドジンジャーは県内有数の産地であり、平成19年に熱帯花きの拠点産地に認定され、高品質で市場からも高い評価を得ている。洋ランは、デンファレを中心とした施設栽培が行われ、複合品目としてエピデンドラムやオンシジウムが導入されている。

平成25年3月の新石垣空港の開港に伴い、「南国の花でいっぱい石垣島」を観光客へPRしている。

石垣市花き類生産実績の推移

単位:a、千本、千円

種類名	H20年産			H21年産			H22年産			H23年産			H24年産		
	作付面積	出荷数量	出荷額	作付面積	出荷数量	出荷額	作付面積	出荷数量	出荷額	作付面積	出荷数量	出荷額	作付面積	出荷数量	出荷額
①切花類 計	1,813	2,200	93,262	1,733	1,986	79,780	1,253	1,305	60,108	975	939	45,386	1,074	1,680	49,016
洋ラン類小計	135	186	15,438	135	186	15,438	135	158	12,640	150	22	3,568	57	7	403
デンファレ	135	186	15,438	135	186	15,438	135	158	12,640	140	22	3,561	37	7	403
オンシジウム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	7	20	0	0
一年草・多年草小計	1,450	1,775	69,307	1,370	1,557	55,561	890	798	36,706	755	839	39,286	697	834	39,704
ヘリコニア	810	1,336	34,736	720	1,149	24,661	330	491	16,157	320	441	13,509	286	450	12,486
レッドジンジャー類	590	386	32,141	590	343	28,000	490	232	17,174	335	294	21,595	336	294	22,078
アンスリウム													25	64	3,840
リトリス	50	53	2,430	60	65	2,900	70	75	3,375	50	78	2,882	0	0	0
ウイキョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	26	1,300	50	26	1,300
葉もの小計	228	239	8,517	228	243	8,781	228	349	10,762	70	78	2,524	197	759	8,720
アレカヤシ	45	84	2,813	45	85	2,828	45	85	2,690	0	0	0	0	0	0
ドラセナ類	125	73	4,185	125	82	4,551	130	131	5,700	50	38	1,528	87	60	2,429
タニワタリ	15	24	535	15	22	525	15	60	900	0	0	0	0	0	0
セローム・クッカバラ	10	10	163	10	9	166	10	8	147	0	0	0	0	0	0
オクラレカ	5	7	125	5	6	112	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他葉もの	28	41	696	28	39	599	28	65	1,325	20	40	996	110	699	6,291
その他切花類小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	123	80	189
②鉢物類計	110	83	18,517	110	84	18,104	100	61	20,127	10	0	150	50	2	278
観葉鉢物小計	32	41	3,210	32	42	3,261	22	28	5,727	0	0	0	40	1	128
ドラセナ類	2	15	1,330	2	14	1,250	2	9	977	0	0	0	0	0	0
ヤシ類	30	26	1,880	30	28	2,011	20	19	4,750	0	0	0	40	1	128
洋ラン鉢物小計	38	26	10,040	38	26	9,715	38	17	8,900	0	0	0	0	0	0
デンファレ	30	13	5,820	30	13	5,690	30	8	4,400	0	0	0	0	0	0
コチョウラン	8	13	4,220	8	13	4,025	8	9	4,500	0	0	0	0	0	0
その他鉢物小計	40	16	5,267	40	16	5,128	40	16	5,500	10	0	150	10	1	150
ブーゲンビリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハイビスカス	10	1	148	10	1	128	10	1	380	0	0	0	0	0	0
ツツジ・サツキ類	10	5	989	10	5	1,010	10	5	1,000	0	0	0	0	0	0
その他鉢物類	20	10	4,130	20	10	3,990	20	10	4,120	10	0	150	10	1	150
③花壇用苗木 計	20	100	2,816	24	125	1,906	24	125	2,790	0	0	0	0	0	0
マリーゴールド	5	10	525	5	10	525	5	10	500	0	0	0	0	0	0
ペチュニア	5	10	436	5	10	436	5	10	45	0	0	0	0	0	0
サルビア	5	10	455	5	10	455	5	10	455	0	0	0	0	0	0
その他花壇苗	5	70	1,400	9	95	490	9	95	1,790	0	0	0	0	0	0
計(①+②+③)	1,943	2,383	114,595	1,867	2,195	99,790	1,377	1,491	83,025	985	939	45,536	1,124	1,682	49,294

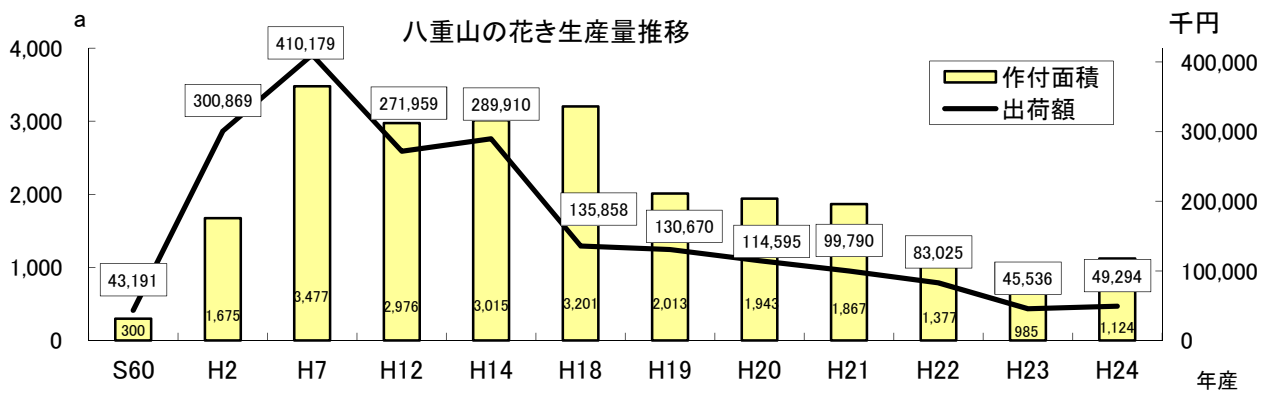
資料:「沖縄県の園芸・流通」 沖縄県農林水産部 平成26年10月



ヘリコニア栽培状況



レッドジンジャー栽培状況



資料:「沖縄県の園芸・流通」沖縄県農林水産部 平成26年10月

(6) 果樹

八重山地域の平成24年産果樹の結果樹面積、収穫量は、概ね前年並みであった。

主要品目であるマンゴーについては結果樹面積が20ha、収穫量が91 t と、前年比16 t 減である。平成20年に発足した八重山マンゴー研究会では、栽培技術の向上や安定出荷のための勉強会や現地検討会が実施されており、今後、出荷量の増加が期待されている。



マンゴー栽培状況

八重山圏域主要果樹(パイナップルを除く)の生産の推移

単位:ha、t

	バナナ			パパイヤ			マンゴー		
	結果樹面積	収穫量	出荷量	結果樹面積	収穫量	出荷量	結果樹面積	収穫量	出荷量
平成20年	7	35	35	2	40	32	14	107	103
平成21年	7	36	36	2	50	50	15	89	83
平成22年	7	35	28	3	58	57	16	118	118
平成23年	8	37	30	3	58	58	16	107	107
平成24年	8	37	30	3	58	58	20	91	91

	ドラゴンフルーツ			パッションフルーツ			シークワサー		
	結果樹面積	収穫量	出荷量	結果樹面積	収穫量	出荷量	結果樹面積	収穫量	出荷量
平成20年	2	40	30	3	15	15	2	10	10
平成21年	2	40	30	2	16	16	2	11	11
平成22年	3	45	40	2	12	10	2	10	10
平成23年	3	54	54	3	18	17	2	10	10
平成24年	3	54	54	3	18	17	2	10	10

資料:「沖縄県の園芸・流通」沖縄県農林水産部 平成26年10月

(7) 葉たばこ

八重山(石垣市)の平成26年産葉たばこの収穫量は前年比10%(12t)の増となっているが、生産額は前年比で約6%(14,132千円)減少している。

過去5年平均(H21年~H25年)との比較では、収穫量は約5%(6t)増、生産額は約5%(12,580千円)の減となっている。



葉たばこ栽培状況(石垣市)

平成26年度葉たばこの生産状況

地域別	項目	栽培農家数 (人)	収穫面積 (ha)	収穫量 (t)	10a当たり 収量(kg)	1kg当たり 平均価格(円)	生産額 (千円)
県	計	(100.0%) 237	(100.0%) 944	(100.0%) 1,803	191	2,087	(100.0%) 3,763,484
八重山 (石垣市)		(9.7%) 23	(6.4%) 61	(7.3%) 132	218	1,991	(7.0%) 263,719
宮古島市		(54.4%) 129	(59.8%) 565	(59.9%) 1,081	191	2,090	(60.0%) 2,258,295
多良間村		(3.8%) 9	(2.1%) 20	(2.3%) 41	202	2,105	(2.3%) 85,696
本島 (伊江島・久米島含む)		(32.1%) 76	(31.6%) 298	(30.5%) 549	184	2,103	(30.7%) 1,155,774

葉たばこの生産の推移(石垣市)

年次	項目	栽培農家数 (人)	収穫面積 (ha)	収穫量 (t)	10a当たり 収量(kg)	1kg当たり 平均価格(円)	生産額 (千円)
21年度		32	80	177	222	1,974	349,990
22年度		30	77	165	214	1,894	311,762
23年度		30	77	47	62	2,018	95,774
24年度		23	61	121	197	1,975	238,118
25年度		23	60	120	199	2,090	250,851
26年度		23	61	132	218	1,991	236,719

資料: 沖縄県たばこ耕作組合

(8) ボタンボウフウ(長命草)

日本の最西端に位置する与那国島では、古くから祭事の供え物として用いられてきたボタンボウフウ(長命草)を平成16年から9戸の農家が経済栽培を開始し、平成18年3月には薬用作物部門で拠点産地認定を受けた。平成20年には、農業生産法人与那国薬草園株式会社が設立され、平成22年には与那国島長命草生産組合の結成があり、栽培から乾燥までを島内で行う生産加工体制が整った。生産量も拠点産地認定後から約10倍まで増加し、ボタンボウフウの一大産地となっている。



ボタンボウフウの栽培状況

与那国町ボタンボウフウ生産実績の推移

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
生産者数(戸)	13	16	12	16	28	50	50	55	60
栽培面積(ha)	5.7	8.3	7.5	10.8	15.0	15.0	25.0	27.0	27.0
生産量(t) 生葉	29.2	25.3	81.6	104.0	114.7	153.0	220.0	334.0	263.0

資料: 与那国町産業振興課

3 畜 産

- (1) 当地域の畜産は、亜熱帯の恵まれた自然条件と国内および県内の旺盛な食肉需要等に支えられ、肉用牛生産を主体に農業の基幹的部門として順調に発展している。特に石垣牛は観光客の人気も高く、平成20年4月にJ Aおきなわが「石垣牛」の商標で特許庁より地域団体商標(地域ブランド)を取得している。
平成20年度には石垣市が県内初となる農林水産戦略品目肉用牛(子牛・肥育牛)の拠点産地として認定され、平成21年度には石垣牛ブランド化推進への取組が評価されJ A石垣牛肥育部会が畜産大賞地域畜産振興部門優良賞を受賞した。平成25年度のJ A石垣牛販売実績は562頭、約5億円であった。平成26年度は新たな食肉センターの稼働によって、「石垣牛」ブランドの強化と販路拡大が期待されている。
- (2) 平成25年の沖縄県の農業産出額は885億円となっており、畜産部門は393億円で約44%を占めている。畜産部門の構成比は、肉用牛40%(158億円)、豚31%(123億円)、その他畜産28%(112億円)となっている。なお、平成18年度における管内の農業産出額は121億円となっており、畜産部門は77億円で63.6%を占め、そのうち肉用牛は72億円で全体の59.5%を占めている。
- (3) 当地域には多くの未利用地・低利用地があったことから昭和51年から大型畜産基地建設事業が実施され大規模な草地基盤の整備が図られてきた。平成5年度からは畜産基盤再編総合整備事業(旧公社畜産基地建設事業)がスタートし、現在は、平成25年度から4年計画で畜産担い手育成総合整備事業の「やいま地区(石垣市)」を実施している。
- (4) 肉用牛の流通面においては、指定市場の八重山家畜市場(石垣市)と黒島家畜市場(竹富町黒島)の2市場で生体取引が行われ、取引される子牛の約90%は九州地方を主に県外へと移出されている。当地域で生産される牛は、粗飼料の利用性や発育性に優れ、今日の和牛に求められている高い産肉能力と良好な肉質を兼ね備えた肥育素牛として高く評価されている。
- (5) 家畜防疫衛生については、管内が亜熱帯地域に位置し、伝染性疾病、慢性疾病、寄生虫性疾病等が多発する環境にあることから、それらの予防対策が重要となっている。特に、管内には法定伝染病であるピロプラズマ病を媒介するオウシマダニが広生息していたことから同疾病による高い損耗性が長期にわたり生産振興の妨げとなっていた。そのため国庫補助による沖縄牧野ダニ撲滅対策事業等の大規模な防除対策が展開され、平成8年にはオウシマダニの完全撲滅が達成されている。また、管内は台湾などの東南アジアとの国境隣接地域であり、船便等による交流が活発に行われている。このことから口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病の侵入が懸念され、今後とも家畜衛生上の「南の防波堤」として監視体制の継続・強化を図る。
- (6) 最近の表彰事例としては、平成20年度には石垣市平久保の肉用牛農家(つかさ牧場)が第12回草地畜産コンクール経営内放牧部門「農林水産大臣賞」、第47回農林水産祭畜産部門「天皇杯」及び平成20年度畜産大賞経営部門「最優秀賞」を受賞した。これは当地域の自然環境を最大限に活用した周年集約放牧等の優秀な畜産経営が評価されたものである。
平成25年度には、石垣市新川の乳用牛農家(伊盛牧場)が「沖縄県農林漁業賞(畜産部門)」を受賞した。当農場は粗飼料完全自給の低コスト生産により安定した経営を維持すると共に当地域内への流通販売や6次産業化への展開による雇用創出など地元産業としての貢献度は非常に大きく今後も期待できるものであると評価された。



北福波の後継牛として有望な種雄牛「光北福」

平成25年末 主要家畜の飼養状況

単位：戸、頭、羽

項目 地域別	肉用牛		乳用牛		豚		採卵鶏		馬		山 羊	
	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養羽数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数
県 計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	2,685	69,966	81	4,731	359	219,742	445	1,593,692	150	653	1,225	7,773
八重山 計	26.4%	41.7%	7.4%	4.8%	3.9%	2.7%	11.9%	3.1%	41.3%	53.8%	12.9%	13.4%
	709	29,188	6	228	14	5,919	53	49,182	62	351	158	1,045
石垣市	508	22,458	6	228	10	5,875	14	48,540	37	166	43	486
竹富町	157	5,760	0	0	1	5	33	507	5	6	85	436
与那国町	44	970	0	0	3	39	6	135	20	179	30	123
宮 古	38.8%	20.9%	1.2%	3.0%	3.1%	0.3%	3.4%	1.9%	10.7%	8.3%	11.2%	14.3%
	1,042	14,611	1	142	11	675	15	30,626	16	54	137	1,115
本島	22.4%	19.6%	76.5%	76.4%	51.3%	49.5%	40.0%	60.7%	19.3%	17.0%	36.9%	36.3%
	602	13,711	62	3,613	184	108,704	178	966,733	29	111	452	2,820
北 部	12.4%	17.8%	14.8%	15.8%	41.8%	47.5%	44.7%	34.3%	28.7%	21.0%	39.0%	35.9%
	332	12,456	12	748	150	104,444	199	547,151	43	137	478	2,793

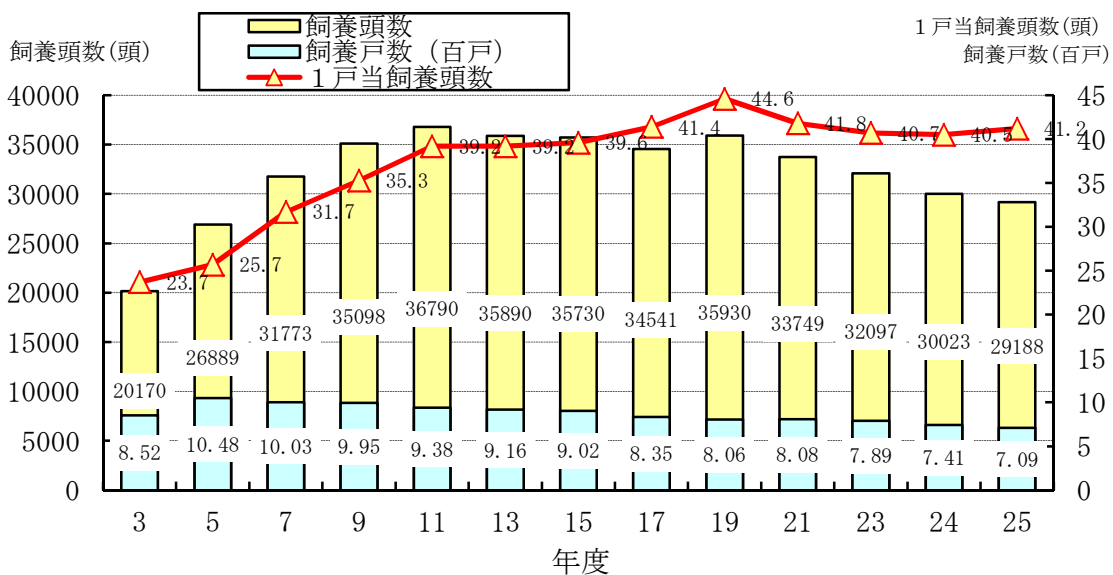
資料：八重山家畜保健衛生所

八重山における主要家畜の飼養頭羽数の推移

単位：戸、頭、羽

項目 年度	肉用牛		乳用牛		豚		採卵鶏		馬		山 羊	
	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養羽数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数
平成10年	961	36,140	4	376	18	6,395	45	59,128	74	391	162	1,177
平成20年	804	35,310	7	218	12	3,532	48	55,089	54	353	118	822
平成23年	789	32,097	6	282	14	5,998	73	54,945	73	387	128	898
平成24年	741	30,023	7	274	14	5,758	44	54,695	67	388	151	990
平成25年	709	29,188	6	228	14	5,919	53	49,182	62	351	158	1,045

八重山における肉用牛飼養頭数の推移



肉用牛飼養規模別農家数(平成25年)

区分 市町名	1頭		2～9頭		10～19頭		20～29頭		30～39頭	
	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数
石垣市	2	2	102	599	126	1,754	74	1,753	29	2,007
竹富町	4	4	31	155	24	350	23	561	24	822
与那国町	3	3	10	48	15	225	8	194	4	138
合計	9	9	143	802	165	2,329	105	2,508	57	2,967

区分 市町名	40～49頭		50～99頭		100頭以上		計	
	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数
石垣市	33	1,459	74	5,173	38	9,691	478	22,438
竹富町	16	700	24	1,593	11	1,575	157	5,760
与那国町	1	41	2	176	1	145	44	970
合計	50	2,200	100	6,942	50	11,411	679	29,168

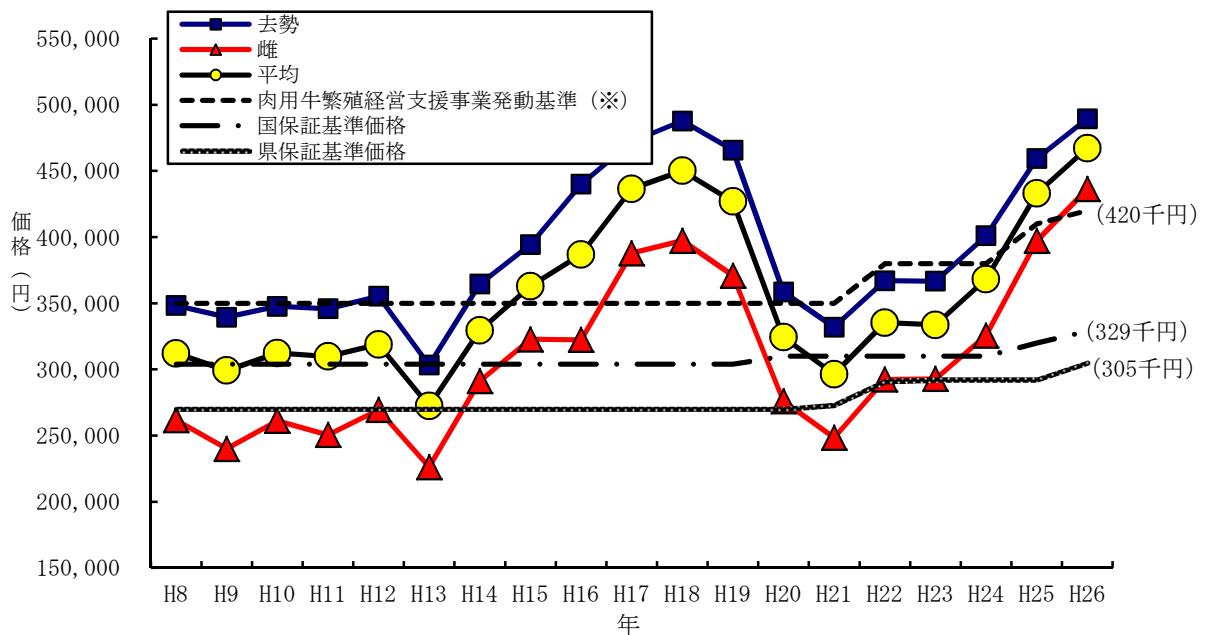
資料:八重山家畜保健衛生所(肥育用乳用種以外)

子牛のセリ市場実績(八重山、黒島合計)

項目 年	開場 回数	上場 頭数	成立頭数			成立 %	売上金額 (千円)	1頭当 平均体重 (kg)	1頭当 平均価格 (千円)	生体1kg 当単価 (円)
			去勢	雌	計					
平成10年	24	8,500	4,909	3,362	8,271	97.3	2,499,258	233	302	1,295
平成15年	18	10,141	5,618	4,405	10,023	98.8	3,924,016	261	392	1,502
平成21年	18	9,917	5,610	4,138	9,748	98.3	2,864,686	256	294	1,149
平成22年	14	9,398	5,359	3,990	9,349	99.5	3,126,395	253	328	1,298
平成23年	18	9,594	5,442	4,102	9,544	99.5	3,285,786	253	331	1,309
平成24年	18	9,137	5,208	3,898	9,106	99.7	3,452,086	256	379	1,478
平成25年	18	8,789	5,047	3,713	8,760	99.7	3,795,953	254	432	1,743
平成26年	18	8,899	5,165	3,705	8,870	99.7	4,144,807	255	466	1,830

資料:八重山家畜保健衛生所

八重山家畜市場の子牛価格推移



資料:八重山家畜保健衛生所

※平成21年度までは子牛生産拡大奨励事業

4 農業・畜産生産振興事業

(1) 経営構造対策事業

実施年度	事業主体	事業種目	事業内容	実施場所	総事業費(千円)
ア. 石垣市					
12	農業生産法人 (有)アグリ石垣島	経営体質強化施設整備事業	高生産性農業用機械施設 (果樹温室7,728㎡及び附属施設)	宮良山内	133,438
13	農業生産法人 (有)エコファーム石垣島	経営体質強化施設整備事業	高生産性農業用機械施設 (野菜・育苗温室4,284㎡、管理棟168㎡、 養液栽培装置、冷蔵庫及び附属施設)	長間原	117,000
15	農業生産法人 (有)石垣島丸昌農園	経営体質強化施設整備事業	高生産性農業用機械施設 (野菜・果樹温室11,724㎡、地下タンク、養液栽培装置及び附属施設)	新川富和底	295,365
16	農業生産法人 (有)伊盛牧場	経営体質強化施設整備事業	高生産性農業用機械施設 (牛舎731㎡、堆肥舎169㎡、管理棟27㎡、尿貯留層、飼料 庫、水タンク、パイプラインミルカー、ブルクーラー、スクレーパー、カマド、 細霧装置、ホイルローダー、トラクター、飼料攪拌機及び附属設備)	新川富和底	106,566
22	沖縄県農業協同組合	特定地域経営支援整備事業	産地形成促進施設 (農産物直売所789㎡)	新栄町	182,894
23	農業生産法人 (株)喜友名ファーム	特認施設整備事業	農作物被害防止施設 (平張施設(花卉)5,008㎡)	大浜武那田原	24,097
24	沖縄県農業協同組合	特定地域経営支援対策事業	高生産性農業用機械施設 (野菜温室11,587.4㎡)	南第一地区	88,935
24	沖縄県農業協同組合	特定地域経営支援対策事業	高生産性農業用機械施設 (野菜温室13,428㎡)	南第二地区	124,642
25	沖縄県農業協同組合	特定地域経営支援対策事業	高生産性農業用機械施設 (果樹温室4,392㎡)	名蔵・真栄里	58,000
26	沖縄県農業協同組合	特定経営支援対策事業	高生産性農業用機械施設 (野菜温室12,834㎡)	石垣市内 (8地区)	167,940
	沖縄県農業協同組合	特定経営支援対策事業	高生産性農業用機械施設 (果樹温室7,932㎡)	石垣市内 (7地区)	177,514
イ. 竹富町					
21	(株)西表島マンゴー農業生産法人	特定地域経営支援整備事業	高生産性農業用機械施設 (果樹温室7,080㎡)	上原船浦	116,371

(2) 新山村振興等対策事業

実施年度	事業主体	事業種目	事業内容	実施場所	総事業費(千円)
ア. 竹富町					
11	竹富町	交流促進施設整備事業	自然資源活用型交流促進施設 460㎡	西表祖納	
12	竹富町	産業誘地促進事業	共同作業施設 276㎡及び附属施設	西表浦内	
12	竹富町	定住促進生活環境整備事業	農村広場公園 (広場3,000㎡、トイレ、ステージ、東屋、管理棟等)	黒島	
13	竹富町	産業誘地促進事業	地域資源活用総合交流促進施設 (織物共同作業施設299㎡、織機等)	竹富島	
13	竹富町	産業誘地促進事業	地域資源活用総合交流促進施設 (織物共同作業施設200㎡、織機等)	西表東部	
13	竹富町	産業誘地促進事業	地域資源活用総合交流促進施設 (織物共同作業施設204㎡、織機等)	小浜島	
15	竹富町	定住促進生活環境整備事業	農村広場公園 (広場3,000㎡、トイレ、ステージ、管理棟等)	竹富島	
イ. 与那国町					
8	与那国町	農業振興事業	区画整理 4.7ha	樽舞	
8	与那国町	農業振興事業	灌漑排水 292m	比川田原	
9	与那国町	交流促進施設整備事業	広場緑地等利用施設17,068㎡	祖納	
10	与那国町	交流促進施設整備事業	伝統文化活用型交流促進施設18,052㎡	祖納	
21	農業生産法人 与那国薬草園(株)	処理加工・集出荷貯蔵施設	農林水産物処理加工施設 (処理加工施設243㎡、乾燥機2台、異物除去機、スライザー、駐 車場200㎡、進入路38m)	与那国	

(3) 野菜振興対策事業

年度	市町村(地区名)	事業主体	事業内容	対象作物	総事業費(千円)
ア. 園芸作物ブランド産地育成事業					
18	石垣市(東部)	沖縄県農業協同組合	共同利用機械整備 (管理機・つね整形マルチセット10.5ps 2台)	オクラ	1,281
18	石垣市(石垣)	沖縄県農業協同組合	台風対策実証展示ほ (7-フェイス・押さえ杭、防風ネット等)	オクラ	957
18	石垣市(東部)	沖縄県農業協同組合	共同利用栽培施設 (低コスト栽培施設5,040㎡)	オクラ	23,940
イ. 園芸ブランドステップアップ事業					
20	石垣市(全域)	沖縄県農業協同組合	実証展示ほ(防風ネット資材)	オクラ	2,425
21	石垣市(東部)	沖縄県農業協同組合	実証展示ほ(防風ネット資材)	オクラ	1,323
ウ. 沖縄県強い農業づくり交付金					
22	石垣市(新川)	農業生産法人 (有)石垣島ファーマー	集出荷施設169㎡、育苗施設90㎡、選果機、育苗機械(土ふる い機)	かぼちゃ、 スイートコーン	26,323
エ. 野菜構造改革促進特別対策事業					
15	石垣市(全域)	沖縄県農業協同組合	防風対策資材(パイプハウス)	キュウリ、 ゴーヤー	21,603
オ. 農業生産総合対策事業					
13	石垣市(石垣)	石垣市	協議会の開催、実証・試験の実施等	かぼちゃ	1,000
14	石垣市(石垣)	石垣市	協議会の開催、実証・試験の実施等	かぼちゃ	1,000
カ. 災害に強い栽培施設の整備事業					
25	石垣市(石垣)	沖縄県農業協同組合	強化型パイプハウス	ゴーヤー	43,040

(4) 果樹振興対策事業

年度	市町村(地区名)	事業主体	事業内容	対象作物	総事業費 (千円)
ア. 沖縄県強い農業づくり交付金					
17	竹富町(上原)	竹富町	集出荷貯蔵施設(選果機1台)	パインアップル	2,289
17	竹富町(全域)	竹富町	協議会の開催、啓発活動等	パインアップル	210
22	竹富町(上原)	竹富町西表パインアップル生産組合	共同育苗施設792㎡	パインアップル	12,652
イ. 沖縄県農業生産・経営対策事業					
18	石垣市(石垣)	沖縄県農業協同組合	協議会の開催、実証・試験の実施等	パインアップル	9,806
19	石垣市(石垣)	沖縄県農業協同組合	協議会の開催、実証・試験の実施等	パインアップル	6,425
19	石垣市(石垣)	石垣市	協議会の開催、実証・試験の実施等	マンゴー	1,000
20	石垣市(石垣)	沖縄県農業協同組合	協議会の開催、実証・試験の実施等	パインアップル	1,819
21	石垣市(石垣)	沖縄県農業協同組合	協議会の開催、実証・試験の実施等	パインアップル	1,784
22	石垣市(大浜)	沖縄県農業協同組合	協議会の開催、実証・試験の実施等	パインアップル	919
23	石垣市(大浜)	沖縄県農業協同組合	協議会の開催、実証・試験の実施等	パインアップル	671
23	竹富町(上原)	竹富町	協議会の開催、実証・試験の実施等	パインアップル	1,169
24	石垣市(中部)	石垣市	協議会の開催、種苗増殖ほの設置、輪切講習会等	パインアップル	529
24	竹富町(東部)	竹富町	協議会の開催、種苗増殖ほの設置、輪切講習会等	パインアップル	1,300
25	竹富町(東部)	竹富町	協議会の開催、実証・試験の実施等	パインアップル	1,730
26	竹富町(東部)	竹富町	協議会の開催、実証・試験の実施等	かぼちゃ	281
ウ. 園芸ブランドステップアップ事業					
21	石垣市(石垣)	沖縄県農業協同組合	パイン選別機	パインアップル	3,013
エ. 自然災害に強い園芸産地育成事業					
20	石垣市(嵩田)	石垣島果樹生産出荷組合	実証、試験の実施(防風ネット)	マンゴー	9,000
オ. 園芸作物における低コスト防災農業実証支援事業					
21	石垣市(石垣中部)	ひらねこマンゴー生産組合	既存施設の補強技術効果確認試験(防風ネット)	マンゴー	6,300
カ. 農業生産総合対策事業					
13	石垣市(石垣)	石垣市	協議会の開催、実証・試験の実施等	パインアップル	1,122
13	石垣市(石垣)	八重山郡農業協同組合	協議会の開催、実証・試験の実施等	パインアップル	8,199
13	竹富町(西表)	竹富町	協議会の開催、実証・試験の実施等	パインアップル	400
13	竹富町(西表)	八重山郡農業協同組合	協議会の開催、実証・試験の実施等	パインアップル	3,739
14	石垣市(石垣)	石垣市	協議会の開催、実証・試験の実施等	パインアップル	500
14	竹富町(西表)	竹富町	協議会の開催、実証・試験の実施等	パインアップル	300
15	石垣市(石垣)	石垣市	協議会の開催、実証・試験の実施等	パインアップル	660
15	竹富町(西表)	竹富町	協議会の開催、実証・試験の実施等	パインアップル	300
16	竹富町(西表)	竹富町	協議会の開催、実証・試験の実施等	パインアップル	316
26	石垣市(名蔵地区)	石垣市	協議会の開催、調査の実施	パインアップル	551
キ. 果樹拠点産地形成総合推進対策事業					
15	石垣市(崎枝)	農業生産法人 (有)ピーエフピー石垣ファーム	トラクター、リバーシブルプラウ、ロータリー、サブソイラー、動機一式	パインアップル	9,165

(5) 花き振興対策事業

年度	市町村(地区名)	事業主体	事業内容	対象作物	総事業費 (千円)
ア. 農業生産総合対策事業					
12	石垣市(石垣)	石垣市	協議会の開催、実証・試験の実施等	輪菊、ソリダコ、 クジャクスター	800
13	石垣市(石垣)	石垣市	協議会の開催、実証・試験の実施等	ヘリコニア、 ジンジャー類	800
14	石垣市(石垣)	石垣市	協議会の開催、実証・試験の実施等	ヘリコニア、 ジンジャー類	800
15	石垣市(石垣)	石垣市	協議会の開催、実証・試験の実施等	ヘリコニア、 ジンジャー類	700
15	石垣市(東部)	沖縄県花卉園芸農業協同組合	農作物被害防止施設 (平張ハウス 7棟)	ヘリコニア、 ジンジャー類	38,000
16	石垣市(石垣)	石垣市	協議会の開催、実証・試験の実施等	ヘリコニア、 ジンジャー類	530

(6) さとうきび

年度	市町村(地区名)	事業主体	事業内容	対象作物	総事業費 (千円)
ア. 沖縄県農業生産・経営対策事業					
18	石垣市(全域)	石垣市	協議会開催、実証・試験の実施等	さとうきび	168
18	竹富町(全域)	竹富町	協議会開催、実証・試験の実施等	さとうきび	290
18	与那国町(全域)	与那国町	協議会開催、実証・試験の実施等	さとうきび	300
19	竹富町(全域)	竹富町	協議会開催、実証・試験の実施等	さとうきび	230
19	与那国町(与那国)	与那国町	協議会開催、実証・試験の実施等	さとうきび	300
19	石垣市(東部)	沖縄県農業協同組合	緑肥鋤き込み(堆肥散布タイプ)	さとうきび	2,403
19	石垣市(全域)	石垣市	協議会開催、実証・試験の実施等	さとうきび	161
19	石垣市(全域)	石垣市	協議会開催、実証・試験の実施等	さとうきび	380

20	石垣市(西部)	沖縄県農業協同組合	緑肥鋤き込み(堆肥散布タイプ)	さとうきび	1,589
20	竹富町(全域)	竹富町	協議会開催、実証・試験の実施等	さとうきび	115
20	石垣市(全域)	石垣市	協議会開催、実証・試験の実施等	さとうきび	184
20	与那国町(与那国)	与那国町	協議会開催、実証・試験の実施等	さとうきび	300
21	石垣市(全域)	石垣市	協議会開催、実証・試験の実施等	さとうきび	184
21	石垣市(白保)	沖縄県農業協同組合	緑肥鋤き込み(堆肥散布タイプ)	さとうきび、かぼちゃ	1,072
22	石垣市(全域)	石垣市	協議会開催、実証・試験の実施等	さとうきび	101
イ 沖縄県さとうきび安定生産確立対策事業					
22	石垣市(与那原)	沖縄県農業協同組合	中型ハーベスター1台、収納袋	さとうきび	40,950
22	竹富町(波照間)	沖縄県農業協同組合	刈り倒し機(MCK-6) 3台	さとうきび	26,354
23	石垣市(野地原)	沖縄県農業協同組合	ケーンハーベスター、収納袋	さとうきび	48,464
23	竹富町(小浜)	沖縄県農業協同組合	刈り倒し機(MCK-6)	さとうきび	10,063
24	石垣市(三和)	沖縄県農業協同組合	ケーンハーベスター、収納袋(30袋)	さとうきび	49,030
24	竹富町(小浜)	沖縄県農業協同組合	大型トラクター、ロータリー、リバーシブルフラウ、全茎式フランター	さとうきび	17,216
24	与那国(立田紙・桃原)	沖縄県農業協同組合	トラクター、ロータリー、リバーシブルフラウ、全茎式フランター、堆肥散布機、中型ロータリー	さとうきび	22,314
25	竹富町(波照間)	沖縄県農業協同組合	大型トラクター、ロータリー、プラソイラー、ラジコン動噴	さとうきび	24,343
25	石垣市(大浜)	石垣市農業開発組合	ケーンハーベスター、収納袋	さとうきび	56,227
25	石垣市(星野)	石垣市農業開発組合	ケーンハーベスター、収納袋	さとうきび	56,227
26	竹富町(西表大原地区)	沖縄県農業協同組合	刈倒機(1台)	さとうきび	11,385
26	石垣市(西部地区)	(財)石垣市農業開発組合	中型ハーベスター	さとうきび	58,196
ウ 沖縄県強い農業づくり交付金					
17	石垣市(全域)	石垣市	協議会開催、実証・試験の実施等	さとうきび	330
17	竹富町(全域)	竹富町	協議会開催、実証・試験の実施等	さとうきび	235
17	与那国町(与那国)	与那国町	協議会開催、実証・試験の実施等	さとうきび	300
18	石垣市(大浜牧場)	(財)石垣市農業開発組合	小型ハーベスター、収納袋、トラクター、ロータリー、リバーシブルフラウ、ブームスプレーヤー	さとうきび	46,893
19	石垣市(新川奈良佐)	(財)石垣市農業開発組合	小型ハーベスター、収納袋	さとうきび	25,735
19	石垣市(新川)	(財)石垣市農業開発組合	トラクター、リバーシブルフラウ、ロータリー、カセットロータリー、全茎式フランター	さとうきび	12,600
19	石垣市(石垣)	沖縄県農業協同組合	トラクター、リバーシブルフラウ、ロータリー	さとうきび	13,230
20	石垣市(開南・おもと)	(財)石垣市農業開発組合	中型ハーベスター、収納袋、トラクター、リバーシブルフラウ、ロータリー、カセットロータリー	さとうきび	57,949
20	石垣市(野地原)	沖縄県農業協同組合	トラクター、リバーシブルフラウ、ロータリー、プラソイラー、全茎式フランター	さとうきび	14,689
21	石垣市(白保与那原)	沖縄県農業協同組合	トラクター100ps、プラソイラー、ロータリー	さとうきび	12,600
21	竹富町(西表大原)	農業生産法人(有)サザンファーム	トラクター76ps、ロータリカルチ、自走式動力噴霧機、全茎式フランター	さとうきび	14,435
エ 農業生産総合対策事業					
12	石垣市(全域)	石垣市	協議会開催、実証試験の実施等	さとうきび	887
12	石垣市(桃里)	八重山郡農業協同組合	集団営農用機械整備(トラクター、リバーシブルフラウ、ロータリー、カセットロータリー、プラソイラー、ブームスプレーヤー、全茎式フランター)	さとうきび	34,125
12	石垣市(石垣)	(財)石垣市農業開発組合	共同利用機械施設整備(集中脱葉施設、リサイクル設備)	さとうきび	192,822
12	石垣市(全域)	八重山郡農業協同組合	土壌土層改良(芯土肥培)	さとうきび	6,680
12	石垣市(全域)	八重山郡農業協同組合	土壌土層改良(堆肥散布)	さとうきび	8,675
12	竹富町(全域)	竹富町	協議会開催、実証試験の実施等	さとうきび	1,217
12	与那国町(与那国)	与那国町	協議会開催、実証試験の実施等	さとうきび	756
12	与那国町(嘉田)	農業生産法人(有)玉城ファーム	集団営農用機械整備(トラクター、汎用管理機、ロータリー、プラウ)	さとうきび	15,645
13	石垣市(全域)	石垣市	協議会開催、実証試験の実施等	さとうきび	1,150
13	石垣市(全域)	石垣市	協議会開催、実証試験の実施(土壌肥料関係)等	さとうきび、かぼちゃ	420
13	石垣市(全域)	(財)石垣市農業開発組合	土壌土層改良(堆肥散布)	さとうきび、さといも	10,710
13	竹富町(全域)	竹富町	協議会開催、実証試験の実施等	さとうきび	1,006
13	与那国町(与那国)	与那国町	協議会開催、実証試験の実施等	さとうきび	756
13	与那国町(全域)	与那国町	集団営農用機械整備(デュアルスプレーヤー)	さとうきび	13,125
13	与那国町(嘉田)	農業生産法人(有)玉城ファーム	集団営農用機械整備(ブームスプレーヤー)	さとうきび	3,843
14	石垣市(全域)	石垣市	協議会開催、実証試験の実施等	さとうきび	986
14	石垣市(全域)	(財)石垣市農業開発組合	協議会開催、啓発活動の実施等	さとうきび	1,144
14	石垣市(新川)	農業生産法人(有)石垣島ファーマー	共同利用機械整備(育苗施設)	さとうきび	34,695
14	竹富町(全域)	竹富町	協議会開催、実証試験の実施等	さとうきび	859
14	与那国町(与那国)	与那国町	協議会開催、実証試験の実施等	さとうきび	648
15	石垣市(全域)	石垣市	協議会開催、実証試験の実施等	さとうきび	904
15	竹富町(全域)	竹富町	協議会開催、実証試験の実施等	さとうきび	376
15	与那国町(与那国)	与那国町	協議会開催、実証試験の実施等	さとうきび	646
16	石垣市(全域)	石垣市	協議会開催、実証試験の実施等	さとうきび	354

16	竹富町(全域)	竹富町	協議会開催、実証試験の実施等	さとうきび	301
16	竹富町(テナ)	農業生産法人(有)小浜島ファーム	共同利用機械整備 (トラクター、株出管理機、フレールモ7、プラソライ、ローラー、ブームス プレー)	さとうきび	11,000
16	与那国町(与那国)	与那国町	協議会開催、実証試験の実施等	さとうきび	486
16	与那国町(与那国)	与那国町	処理加工施設(ホイラー、バカス搬送装置、建屋)	さとうきび	248,050
オ. 資源循環型農業総合支援対策事業					
14	石垣市(石垣)	石垣市	協議会開催、啓発活動等	さとうきび	170
14	石垣市(新川)	沖縄県農業協同組合	緑肥鋤き込み	さとうきび	16,796
16	石垣市(中・東部)	沖縄県農業協同組合	緑肥鋤き込み(堆肥散布タイプ)	さとうきび	11,808
カ. パイロットファーム育成事業					
14	竹富町	農業生産法人(有)小浜島ファーム	トラクター、施肥機、散布装置	さとうきび	2,259

(7) その他

年度	市町村(地区名)	事業主体	事業内容	対象作物	総事業費 (千円)
ア. 沖縄県農業生産・経営対策事業					
18	与那国町(与那国)	与那国町	協議会の開催、実証・試験の実施等	ホタネホウワウ	600
18	石垣市(石垣)	石垣市	協議会の開催、実証・試験の実施等	甘しょ	600
20	石垣市(石垣)	石垣市	協議会の開催、実証・試験の実施等	甘しょ	400
20	与那国町(与那国)	農業生産法人与那国菜草園(株)	トラクター(ローリ固定型)	ホタネホウワウ	1,500
22	与那国町(与那国)	与那国町	協議会の開催、実証・試験の実施等	ホタネホウワウ	500
22	与那国町(与那国)	農業生産法人与那国菜草園(株)	共同利用機械整備(乾燥機2台)	ホタネホウワウ	4,820
24	石垣市・与那国町	沖縄県農業協同組合	協議の開催、防風対策展示ほ、展示ほ現地検討会	オクラ	1,079
イ. 沖縄県強い農業づくり交付金					
17	石垣市(南部)	石垣島甘しょ生産組合	共同利用機械整備(動力噴霧機、いも掘り機)	甘しょ	882
ウ. 農業生産総合対策事業					
13	石垣市(全域)	石垣市	協議会の開催、実証・試験の実施等	水稻	1,352
14	石垣市(全域)	石垣市	協議会の開催、実証・試験の実施等	水稻	500
15	石垣市(全域)	石垣市	協議会の開催、実証・試験の実施等	水稻	500
エ. 水田農業経営確立対策推進交付金					
13	石垣市	石垣市	市町村推進費	水稻	295
13	竹富町	竹富町	市町村推進費	水稻	266
13	与那国町	与那国町	市町村推進費	水稻	273
14	石垣市	石垣市	市町村推進費	水稻	325
14	竹富町	竹富町	市町村推進費	水稻	300
14	与那国町	与那国町	市町村推進費	水稻	301

※(1)~(7)の平成26年度事業費は実績見込額

(8) 畜産振興事業(地方競馬全国協会及び県補助事業)

単位:千円

年度	事業細目	件数	事業概要	事業費	地全協補助金	県補助金
H2	農用馬放牧促進	2	放牧費 補助対象頭数 延べ	59頭 354	354	—
	雌牛生産推進	1	生産推進費	550頭 27,501	13,750	5,500
	雌牛放牧推進	4	放牧推進費	2,309頭 16,163	16,163	—
	計	7		2,918頭 44,018	30,267	5,500
H3	農用馬放牧促進	1	放牧費 補助対象頭数 延べ	15頭 90	90	—
	公共牧場利用推進	1	肉用牛生産対策費	529頭 28,973	13,757	5,500
	計	2		544頭 29,063	13,847	5,500
H4	公共牧場利用推進	1	利用推進費 補助対象頭数 延べ	570頭 24,973	12,485	4,766
	計	1		570頭 24,973	12,485	4,766
H5	公共牧場利用推進	1	利用推進費 補助対象頭数 延べ	548頭 20,003	10,000	4,000
	計	1		548頭 20,003	10,000	4,000
H6	公共牧場利用推進	1	利用推進費 補助対象頭数 延べ	7,052 7,052	3,525	1,410
	計	1	施設整備費	13,154 13,154	6,474	2,589
H7	馬改良増殖推進事業	1	種雄馬管理費 補助対象頭数 延べ	2頭 320	320	—
	公共牧場利用推進	1	子馬生産奨励費	24頭 672	672	—
	公共牧場利用推進	1	利用推進費	830頭 17,600	8,360	4,000
	計	2	施設整備費	2,400 2,400	1,140	—
H8	馬改良増殖推進事業	1	種雄馬管理費 補助対象頭数 延べ	2頭 320	320	—
	公共牧場利用推進	1	子馬生産奨励費	28頭 672	672	—
	公共牧場利用推進	1	利用推進費	1,253頭 17,600	8,360	3,520
	計	2	施設整備費	2,400 2,400	1,140	480
H9	馬改良増殖推進事業	1	種雄馬管理費 補助対象頭数 延べ	2頭 320	320	—
	公共牧場利用推進	1	子馬生産奨励費	29頭 696	696	—
	公共牧場利用推進	1	利用推進費	1,124頭 13,086	3,894	1,723
	計	2	施設整備費	9,082 9,082	4,541	2,277
H10	馬改良増殖推進事業	1	種雄馬管理費 補助対象頭数 延べ	2頭 320	320	—
	公共牧場利用推進	1	子馬生産奨励費	28頭 672	672	—
	公共牧場利用推進	1	利用推進費	1,231頭 8,943	2,981	1,900
	計	2	施設整備費	8,360 8,360	2,333	1,400
計	2		1,261頭 18,295	6,306	3,300	

H11	馬改良増殖推進事業	1	種雄馬管理費	補助対象頭数 延べ	2頭	320	320	—
	公共牧場利用推進	1	子馬生産奨励費	"	20頭	480	480	—
			利用推進費	"	1,127頭	10,727	3,089	1,800
			施設整備費	"	"	7,306	2,435	1,200
計	2			1,149頭	18,833	6,324	3,000	
H12	馬改良増殖推進事業	1	種雄馬管理費	補助対象頭数 延べ	1頭	160	160	—
	公共牧場利用推進	1	子馬生産奨励費	"	23頭	576	576	—
			利用推進費	"	1,004頭	5,995	1,998	1,593
			施設整備費	"	"	5,296	1,765	1,407
計	2			1,028頭	12,027	4,499	3,000	
H13	馬改良増殖推進事業	1	種雄馬管理費	補助対象頭数 延べ	1頭	160	160	—
	公共牧場活性化対策	1	子馬生産奨励費	"	11頭	242	242	—
			利用推進費	"	907頭	5,857	1,951	1,362
			施設整備費	"	"	2,745	915	638
計	2			919	9,004	3,268	2,000	
H14	公共牧場利用推進	1	利用推進費	"	864頭	3,744	1,247	1,462
	計	1	施設整備費	"	"	1,377	459	538
H15	公共牧場活性化対策	1	利用推進費	"	721頭	3,042	1,014	1,260
	計	1	施設整備費	"	"	1,286	428	540
					721頭	4,328	1,442	1,800

(9) 八重山地域畜産基地建設実施状況

	区域名	工事期間 所在地	主要事業	事業費 (百万円)	類型別経営体数	家畜飼養頭数(目標)
1	公団営 石垣第一	昭和51～昭和54 石垣市	草地造成 291 ha 畜舎 33 棟 農機具導入 175 台 家畜導入 492 頭	3,270	肉用牛公共牧場 1 肉用牛牧場 10 肉用牛牧場、養豚場 2 養豚場 1 計 14	肉用牛 3,024 頭 豚 1,676 頭
2	公団営 石垣第二	昭和55～昭和58 石垣市	草地造成 290 ha 畜舎 52 棟 農機具導入 320 台 家畜導入 610 頭	7,425	肉用牛牧場 12 肥育センター 1 肉用牛繁殖、養豚場 2 養豚場 4 養鶏場 2 酪農牧場 1 食肉センター 1 計 23	肉用牛 3,296 頭 乳用牛 318 頭 豚 6,249 頭 採卵鶏 47,828 羽
3	公団営 八重山第一	昭和59～昭和62 石垣市・竹富町	草地造成 250 ha 畜舎 19 棟 農機具導入 182 台 家畜導入 210 頭	4,539	肉用牛牧場 12 養豚場 5 養鶏場 1 食肉センター 1 計 19	肉用牛 2,031 頭 豚 1,874 頭 採卵鶏 20,210 羽
4	公団営 与那国	昭和61～平成3 与那国町	草地造成 193 ha 畜舎 28 棟 農機具導入 209 台 家畜導入 18 頭	3,746	肉用牛牧場 33 養豚場 1 家畜市場 1 計 35	肉用牛 2,453 頭 豚 419 頭 馬 33 頭
5	公団営 八重山第二	昭和63～平成4 石垣市・竹富町	草地造成 238 ha 畜舎 4 棟 農機具導入 118 台	3,190	肉用牛牧場 23 養豚場 1 家畜市場 2 計 26	肉用牛 2,945 頭 豚 690 頭
6	公社営 竹富町第一	平成5～平成9 竹富町 (黒島)	草地造成 111 ha 畜舎 17 棟 農機具導入 41 台	1,392	肉用牛牧場 18 計 18	肉用牛 617 頭
7	公社営 ばいぬしま	平成10～12年 竹富町 (竹富島・西表島 小浜島・波照間島)	草地造成 54 ha 畜舎 19 棟 農機具導入 85 台	1,456	肉用牛牧場 21 家畜市場 1 計 22	肉用牛 1,571 頭
8	公社営 竹富町第二	平成10～13年 竹富町 (黒島)	草地造成 118 ha 畜舎 19 棟 農機具導入 51 台	1,550	肉用牛牧場 22 計 22	肉用牛 2,474 頭
9	公社営 ばいぬしま 第二	平成15～18年 竹富町 (黒島・西表島 小浜島・波照間島)	草地造成 92 ha 畜舎 12 棟 農機具導入 79 台	1,750	肉用牛牧場 27 家畜市場 1 計 28	肉用牛 2,450 頭
10	公社営 ばいぬしま 第三	平成19～21年 竹富町 (黒島・西表島 小浜島・波照間島)	草地造成 80.2 ha 畜舎 12 棟	1,017	肉用牛牧場 21 計 21	肉用牛 1,948 頭
11	公社営 やいま地区	平成25～28年 石垣市	草地造成 45.5 ha 草地整備 11.1 ha 畜舎 1 棟 農機具導入 8 台	630	肉用牛牧場 10 肥育センター 1 計 11	肉用牛 1,334 頭
	計	昭和51～平成28	草地造成 1,763 ha 草地整備 11 ha 畜舎 216 台 農機具導入 1,268 台 家畜導入 1330 頭	29,965	肉用牛牧場 209 肉用牛牧場、養豚場 4 養豚場 12 その他 14 計 239	肉用牛 24,143 頭 乳用牛 318 頭 豚 10,908 頭 鶏 68,038 羽 馬 33 頭

※見込み

資料：八重山家畜保健衛生所

注1：6以降は畜産基盤再編総合整備事業、10から畜産担い手育成総合整備事業(旧畜産基盤再編総合整備事業)

5 家畜伝染病予防・病虫害防除・鳥獣被害防止対策事業

(1) 家畜衛生関係の事業概要(平成25年4月～平成26年3月)

1. 予防注射事業 家畜伝染病予防法第6条の規定に基づき実施する。

(牛)	牛流行熱・イバラキ混合	牛異常産三種混合	アカバネ病
実施頭羽数	4,059	2,069	1,617

(鶏)	ニューカッスル病
実施頭羽数	14,300

2. 家畜伝染病及び届出伝染性疾病発生状況(平成25年1月～12月)

①家畜伝染病発生報告

家畜種類	病名	発生戸数	発生頭数	死亡頭数	殺頭数

②届出伝染性疾病発生報告

病名	家畜種類	発生戸数	発生頭数	死亡頭数	疑症
破傷風	牛	5	5	5	1
牛流行熱	牛	2	2	0	158
牛白血病	牛	3	3	3	1
アイノウイルス感染症	牛	1	1	1	0

③その他検査実績

	BSE検査	種畜衛生検査	導入牛検査	豚コレラ	オーエスキー病
頭数	155	33	99	30	44

3. 口蹄疫侵入防止対策

八重山地域は台湾や中国など汚染国に隣接し、口蹄疫の侵入リスクが高いことが懸念されている。そのような中、平成25年4月1日に石垣港の指定強化、平成25年3月7日は新石垣空港の指定港化が施行された。これにより海外クルーズ船やチャーター便の入港に際し、動物検疫所が携行品検査等を実施するなどの水際防疫が強化されている。竹富町の離島は、年間106万人が訪れる観光地となっていることから、離島棧橋及び離島(竹富島、黒島、小浜島、西表島)にも消毒マットが設置されている。離島地域における初動防疫強化のため25年度県単事業で、消毒薬などを備蓄するコンテナを離島の離島(黒島、西表、与那国)に設置した。また平成23年度からは、テーマを決めて実働演習を毎年開催しており、初動防疫体制の強化に努めている。



【口蹄疫とは】

口蹄疫はピコルナウイルス科アフトウイルス属に分類される口蹄疫ウイルスの感染による急性熱性伝染病で、伝染力が強く、牛、水牛、豚、めん羊、山羊などの家畜をはじめ、野生動物を含むほとんどの偶蹄類動物が感染する。病名は発病動物の口、蹄及び乳房周辺の皮膚や粘膜に水疱が形成されることに由来する。

牛の症状



豚の症状



【平成25年度口蹄疫防疫実働演習の様子】
口蹄疫発生に備え、平成25年7月31日、八重山家畜保健衛生所内で防疫作業開始までのシミュレーション及び車両消毒ポイントや発生農場における消防訓練を実施。



防疫ステーションの模擬演習



消毒ポイントにおける車両消毒演習



清浄区での防護服着脱演習



模擬畜舎消毒演習

【家畜伝染病発生時の支援活動に関する協定について】

家畜保健伝染病(口蹄疫・鳥インフルエンザなど甚大な経済的被害及び社会的影響をもたらす疾病)が発生又は発生疑いがある場合、沖縄県が行う防疫活動への支援に関する基本的な事項を定めた「家畜伝染病発生時における支援活動に関する地域細目協定」が下記のとおり、八重山農林水産振興センターと八重山地域警備業協会会員及び一般社団法人沖縄県建設業協会八重山支部の間で締結された。

この協定締結により「より広域な防疫活動と、作業員の確保」「連絡窓口の一本化によるスムーズな連携体制の構築」がなされ、「家畜伝染病発生時における迅速な初動防疫体制の確立」が期待される。



締結年月日	締結先及び内容
H26年6月30日	地域警備業協会会員 ・主な支援内容として、伝染病発生農場周辺に設置する消毒ポイントでの車両誘導及び消毒
H26年9月10日	沖縄県建設業協会八重山支部 ・主な支援内容として、「処分家畜や汚染物品の運搬及び埋却」「発生農場及びその周辺における消毒」など

(2) 特殊病害虫特別防除事業

① ミバエ根絶事業

【ウリミバエ】

ウリミバエは大正8年(1919)に八重山群島で発見されて以来、分布域を拡大し(第1表)農作物に大きな被害を与え、農業振興上の障害となり、その根絶が県民の長年にわたる夢であった。

県におけるウリミバエの根絶防除は昭和47年(1972)本土復帰を契機にはじまり、久米島、宮古群島、沖縄群島での根絶達成後、八重山群島では、昭和56年から薬剤による被害軽減防除を実施し、平成元年(1989)9月八重山群島ウリミバエ不妊虫放飼センターを建設、同年10月からテックス板による密度抑圧防除に着手した。平成2年(1990)1月から不妊虫放飼防除を開始し、週/9,000万頭(石垣市4,000万、竹富町4,400万、与那国町600万)を航空(ヘリ)放飼した。平成5年(1993)5月から8月まで確認調査を実施し、その結果公聴会(同年10月8日)等の手続きを経て植防法施行規則が改正(10月29日付、同30日施行)され、八重山群島はウリミバエの発生地域から除外された。このことは、大正8年(1919)ウリミバエの発見以来実に74年ぶりのことである。

第1表 ウリミバエの分布拡大と根絶

	侵入(分布)	防除開始	根絶
八重山群島	大正8年(1919)	平成2年1月(1990)	平成5年10月(1993)
宮古群島	昭和4年(1929)	昭和59年8月(1984)	昭和62年11月(1987)
久米島	昭和45年(1970)	昭和50年2月(1975)	昭和53年9月(1978)
沖縄群島	昭和47年(1972)	昭和62年11月(1986)	平成2年11月(1990)
奄美群島	昭和49年(1974)	昭和60年9月(1985)	昭和62年11月(1987)

第2表 八重山群島ウリミバエ根絶防除事業概要(平成5年度は10月までの実績)

項目	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	合計
防除対象面積(ha)	57,936	57,936	58,598	58,590	58,612	58,612
延べ防除面積(ha) (抑圧延べ防除面積)	226,970 (106,558)	1,861,747 (105,072)	2,928,150	2,929,500	1,757,310	9,703,677 (114,542)
放飼数量(万頭)	63,371	310,400	450,000	450,000	270,000	1,543,771
事業費(百万円)	164	474	761	757	618	2,774
従事者数(人)	8,110	16,089	23,123	22,671	12,105	82,098

※上記年度の他に平成5年度までに被害軽減防除事業費として75百万円の事業を要した。

※各群島の防除事業費の他に不妊虫大量増殖施設の建設費等として平成5年度までに4,306百万円の事業を要した。

【ミカンコミバエ】

ミカンコミバエは、ウリミバエと同様に大正8年(1919)に発生が確認された後、本土復帰を契機に根絶防除が開始された。根絶防除は誘殺剤を吸着させた誘殺板を用い、ヘリから投下する航空防除、住宅地等では誘殺板を吊り下げる地上防除が行われ、昭和61年(1986)八重山群島の根絶を最後に沖縄県全域から一掃された。

② ウリミバエ・ミカンコミバエ侵入防止事業

ウリミバエ・ミカンコミバエ根絶後、再侵入を防止するため侵入防止事業を実施している。



ウリミバエ



ミカンコミバエ

ア 八重山群島におけるウリミバエの侵入防止

	八重山群島(石垣市・竹富町)	八重山群島(与那国町)
不妊虫生産	放飼計画に従い、大量増殖施設でウリミバエの蛹を生産し、不妊化施設でコバルト60からでる放射線(γ線)を照射して不妊化する。なお、生産毎にふ化率、蛹歩留まり、羽化率、有効飛び出し虫率を調査する。	
蛍光色素	黄色:サタンイエロー	白色:インビジブルブルー
飼育保管	八重山放飼センター:コンテナ	—
蛹輸送方法	不妊化当日空輸(蛹)	不妊化当日空輸(蛹)
放飼方法	成虫冷却航空放飼 放飼当日低温(2~5℃)	蛹地上放飼(放飼容器:100カ所)
放飼不妊虫数	3,600万頭/回	300万頭/回
防除回数	35回	35回
防除面積	38,795ha	2,888ha
防除時期	4月・10月~3月(隔週放飼) 5月~9月(毎週放飼)	4月・10月~3月(隔週放飼) 5月~9月(毎週放飼)

イ 八重山群島におけるミカンコミバエの侵入防止

	防除地域	実防除面積 (ha)	防除 回数	延防除面積 (ha)	1ha当 薬剤量	総薬剤量(枚)
地上防除	八重山群島	2,206	4	8,104	3枚	24,312
航空防除	西表外周	10,754	4	43,016	2枚	86,032
	与那国島	2,757	4	11,028	2枚	22,056

ウ ウリミバエ・ミカンコミバエ侵入警戒調査

侵入防止事業の効果を確認するためトラップ調査と寄主植物調査を実施している。トラップは八重山群島で104個設置し、年26回、定期寄主植物調査は年2回実施している(平成26年度)。

平成25年度八重山地区ミカンコミバエ誘殺状況

	回収月日	誘殺地点	性別	誘殺頭数	対策会議	臨時寄主果実調査	
						第1回	第2回
1	6月26日	石垣市	雄	1	6月28日	7月2日	7月24日
2	6月24日	竹富島	雄	1	—	7月2日	7月23日
3	6月27日	波照間島	雄	1	—	7月2日	7月23日
4	7月1日	石垣市	雄	1	7月5日	7月8日	7月24日
5	7月4日	石垣市	雄	1	7月5日	7月8日	7月24日
6	7月11日	石垣市	雄	1	—	7月24日	8月7日
合計誘殺頭数				6			

資料:沖縄県病害虫防除技術センター

(3) 特定重要病害虫防除対策事業

① カンキツグリーニング病防除対策

カンキツグリーニング病は、昭和63年(1988)西表島において発見され、その後平成5年(1993)沖縄本島で発生が確認された。平成9年(1997)の植物防疫法改正により、沖縄県からの果実を除く寄主植物及び媒介昆虫であるミカンキジラミの本土への移動が規制されている。

県における防除対策は、カンキツ園、庭木のカンキツ類を対象に現地調査とサンプル収集及び検定を実施し、発生状況の調査を行っている。

またチラシ・リーフレットによる啓発活動、罹病樹の所有者の了解を得ての伐採処分の実施及び伐採指導等の総合的な対策を実施している。

八重山地区では、平成23年度からは一斉調査は行わず、持ち込み診断の呼びかけを行い、カンキツグリーニング病の認知度アップや伐採率向上を目指している。

カンキツグリーンング病罹病樹伐採状況

単位:本

地域別	項目	平成25年度持ち込み診断・重点調査			累計(H20～H25)		
		サンプリング数	罹病樹	伐採樹	罹病樹	伐採樹	未伐採樹
八重山計		9	0	0	40	31	9
石垣市		0	0	0	19	19	0
竹富町		0	0	0	14	12	2
与那国町		0	0	0	7	0	7

※沖縄県病害虫防除技術センター調べ

② 与那国島におけるナスミバエまん延防止防除事業

昭和59年6月、与那国島において、我が国で初めてナスミバエの寄生果実が発見された。その後、寄生果実が確認されない期間があったが、平成11年に再発見され、平成16年には島内全域に定着していることが確認された。

このため、平成16年11月に植物防疫法に基づく農林水産大臣によるまん延防止のための防除指示が発出され、ナスミバエまん延防止防除事業により密度抑圧防除及び不妊虫放飼による防除を行った。

防除効果確認の結果、平成21年4月以降ナスミバエの寄生果実が発見されていないことから、駆除が十分に行われたことを確認するため、平成23年4月18日から6月24日の期間で駆除確認調査を行った。この調査でもナスミバエの寄生果実は発見されず、農林水産省は平成23年8月19日に与那国島のナスミバエが根絶したことを発表した。



ナスミバエ

(4) 鳥獣被害防止対策事業

八重山地区においても、鳥獣による農作物の被害が年々増えており、平成25年度の被害額は約2,200万円となっている。各地域では地域協議会や鳥獣被害対策実施隊を設置し、鳥獣被害防止総合対策事業等により被害軽減に努めている。

平成25年度八重山地区における鳥獣種類別被害面積・金額

市町	鳥獣種類名	主な被害作物種類名	被害面積(a)	被害額(円)
石垣市	カラス	パインアップル、さとうきび	69.3	3,372,246
	イノシシ	さとうきび、パインアップル	319.1	11,112,987
	キジ	パインアップル、水稲	70.1	3,634,579
	その他鳥類(クジャク)	さとうきび、パインアップル	12.6	636,722
	その他(スズメ・ハト・バン)	水稲	44.8	356,622
石垣市 計			515.9	19,113,156
竹富町	カラス	パインアップル	50.0	620,000
	イノシシ	さとうきび	760.0	2,257,200
	その他鳥類(カルガモ)	水稲	500.0	387,500
竹富町 計			1310.0	3,264,700
八重山地区 計			1825.9	22,377,856

平成25年度鳥獣被害防止総合対策事業(国庫補助)実績

市町	事業実施主体	事業内容	総事業費(円)
石垣市	石垣市有害鳥獣対策協議会	推進事業:-	-
		整備事業:-	-
		事業費計	-
竹富町	竹富町有害鳥獣対策協議会	推進事業:捕獲活動	220,000
		整備事業:侵入防止柵(金網柵、2,200m)	9,408,650
		事業費計	9,628,650

6 農業農村整備の概要

(1) 八重山における農業農村整備状況

平成25年度末の沖縄県における農業生産基盤の整備状況は、水源・かんがい施設の要整備面積39,200haに対して、整備率は水源が58.7%、かんがい施設の整備率は46.2%となっている。また、ほ場要整備面積33,200haに対して、59.3%の整備率、勾配修正等による赤土等流出防止施設の要整備面積は17,600haに対して34.5%の整備率となっている。

これに対して八重山における農業生産基盤の整備状況は、水源・かんがい施設の要整備面積8,137haに対して、その整備率は水源が60.9%、かんがい施設の整備率は52.5%となっている。また、ほ場は要整備面積5,098haに対して、67.3%の整備率、赤土等流出防止施設は要整備面積4,402haに対してその整備率は68.4%となっている。県内では整備の進んでいる地域といえるが、農家から整備希望のある地区がまだ残っている状況であり、今後も整備を促進していかなければならない。

【語句の説明】

- 『農業用水源整備』 : ダムや貯水池など農業用水の水源を整備すること。
- 『かんがい施設整備』 : スプリンクラー・給水栓などの散水施設を整備すること。
- 『ほ場整備』 : 畑や水田を整備すること。
- 『集落排水施設整備』 : 農村集落内の生活排水処理（下水処理施設）等を整備すること。
- 『赤土等流出防止施設整備』 : グリーンベルト設置やほ場の勾配修正等を行うことで、土地の土壌流出を防ぐこと。

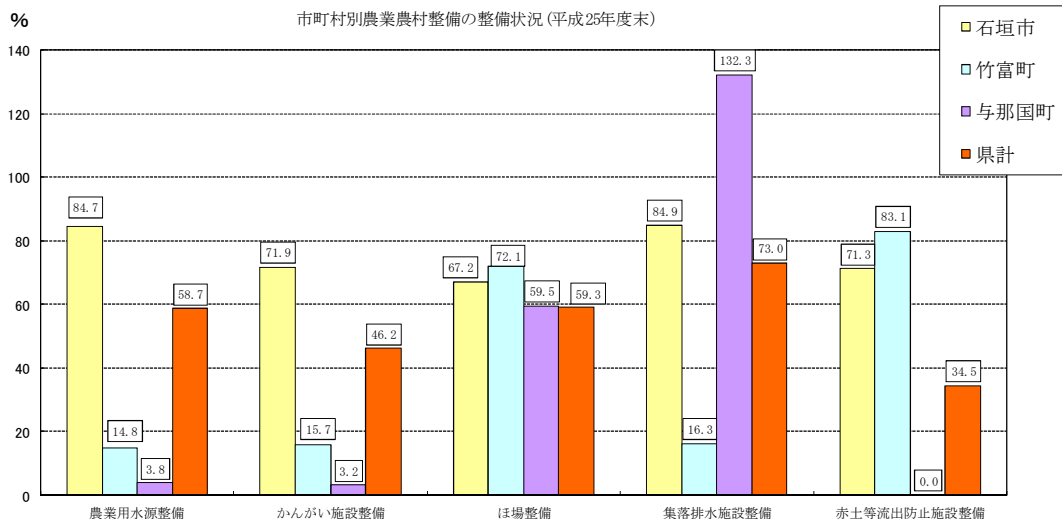
八重山における農業農村整備状況

単位：要整備量・整備済(ha)、整備率(%)、集落排水施設要整備量においては(人)

	農業用水源整備			かんがい施設整備			ほ場整備			集落排水施設整備			赤土等流出防止施設整備			
	要整備量	整備済	整備率	要整備量	整備済	整備率	要整備量	整備済	整備率	要整備量	整備済	整備率	要整備量	整備済	整備率	
18	8,152.0	4,908.5	60.2	8,152.0	3,895.0	47.8	5,037.0	3,374.3	67.0	33.0	4.0	12.1	4,402.0	1,623.9	36.9	
19	8,152.0	4,908.5	60.2	8,152.0	4,042.7	49.6	5,037.0	3,379.9	67.1	33.0	6.0	18.2	4,402.0	1,982.5	45.0	
20	8,152.0	4,908.5	60.2	8,152.0	4,045.7	49.6	5,037.0	3,385.5	67.2	33.0	6.0	18.2	4,402.0	2,257.4	51.3	
21	8,152.0	4,925.5	60.4	8,152.0	4,106.1	50.4	5,037.0	3,386.3	67.2	33.0	7.0	21.2	4,402.0	2,397.9	54.5	
22	8,152.0	4,925.5	60.4	8,152.0	4,141.9	50.8	5,037.0	3,394.6	67.4	33.0	7.0	21.2	4,402.0	2,633.9	59.8	
23	8,137.0	4,925.5	60.5	8,137.0	4,190.9	51.5	5,098.0	3,404.1	66.8	13,070.0	9,061.0	69.3	4,402.0	2,722.4	61.8	
24	8,137.0	4,959.3	60.9	8,137.0	4,244.8	52.2	5,098.0	3,411.6	66.9	13,070.0	9,061.0	69.3	4,402.0	2,884.3	65.5	
平成25年度	石垣市	5,477.0	4,637.8	84.7	5,477.0	3,936.4	71.9	3,855.0	2,591.6	67.2	8,440.0	7,169.0	84.9	3,549.0	2,528.8	71.3
	竹富町	1,997.0	296.1	14.8	1,997.0	314.4	15.7	807.0	581.8	72.1	3,650.0	595.0	16.3	578.0	480.3	83.1
	波照間島	520.0	275.6	53.0	520.0	293.9	56.5	354.0	283.2	80.0	-	-	-	-	-	-
	西表島	795.0	20.5	2.6	795.0	20.5	2.6	329.0	194.6	59.1	-	-	-	-	-	-
	小浜島	300.0	0.0	0.0	300.0	0.0	0.0	124.0	104.0	83.9	-	-	-	-	-	-
	黒島他	382.0	0.0	0.0	382.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-
	与那国町	663.0	25.4	3.8	663.0	21.0	3.2	436.0	259.6	59.5	980.0	1,297.0	132.3	275.0	0.0	0.0
圏域計	8,137.0	4,959.3	60.9	8,137.0	4,271.8	52.5	5,098.0	3,433.0	67.3	13,070.0	9,061.0	69.3	4,402.0	3,009.1	68.4	
県計	39,200.0	23,028.4	58.7	39,200.0	18,109.6	46.2	33,200.0	19,691.4	59.3	86,662.0	63,276.0	73.0	17,600.0	6,065.0	34.5	

※平成20年度に「宮良川・名蔵川・大浦川」の3土地改良区は合併し、『石垣島土地改良区』になりました。

※沖縄21世紀ビジョンにあわせ、集落排水施設整備型においては要整備量をhaから人へ変更。



(2) 農業生産基盤の整備

亜熱帯特性等生かした特色ある農林水産業の振興を図るため地域特性に適合した生産基盤を推進する。



スプリンクラー



ファームポンド



貯水池・太陽光パネル

番号	地区名	市町村	事業主体	受益面積 (ha)	全体		工期
					事業量	事業費 (千円)	
水利施設整備事業【農業用水を確保し活用するとともに、排水不良農地を解消する】							
1	豊波	竹富町	県	118.0	貯水池 2カ所、揚水機場 2カ所、ファームポンド1カ所 畑地かんがい A=118ha、集水路 L=1,500m	4,409,000	H13-H26
2	上原1期	竹富町	県	134.1	溪流取水工 2ヶ所、貯水池工 2基、管路工 L=11,525m、 小水力発電施設 1基、畑地かんがい施設、Ⅲ型給水所 1基	2,462,000	H26-H33
3	大座	石垣市	県	52.0	畑地かんがい A=52.0ha	431,000	H26-H32
	小計	3地区		-		7,302,000	
農地整備事業(経営体育成型)【農地の区画を整理するとともに、耕作放棄地を解消する】							
4	米節東	石垣市	県	24.9	整地工 A=24.9ha、農道工 L=5,001m、排水路工 L=7,968m かんがい施設工 A=24.9ha	777,538	H20-H29
5	与那良原	竹富町	県	25.1	頭首工 160m、整地工 A=20.7ha、農道工 L=4,300m、 排水路工 L=3,355m、用水路工 L=1,935m	660,000	H25-H29
	小計	2地区		-		1,437,538	
農地整備事業(畑地帯担い手育成型・畑地帯担い手支援型)【複数の土地改良事業を、総合的・一体的に実施する】							
6	南帆安	与那国	県	52.6	整地工 A=52.6ha、農道工 L=11,680m、排水路工 L=16,220m 浸透池 2基、水田かんがい施設 A=13.1ha	2,559,000	H23-H31
7	大座	石垣市	県	52.1	区画整理A=52.1ha	1,802,000	H24-H31
8	島仲	与那国町	県	49.8	区画整理A=49.8ha	1,577,000	H26-H31
	小計	3地区		-		5,938,000	
農山漁村活性化対策整備事業(旧団かん型)【小規模な受益地に対して、かんがい施設を整備する】							
9	貢馬第2	与那国	町	23.5	農業用排水施設A=23.5ha	473,000	H22-H26
10	山田	石垣市	区	19.4	かんがい施設工L=2,620m	143,000	H24-H28
11	明石	石垣市	区	58.1	農業用排水施設A=58.1ha	460,000	H24-H28
12	野呂水	石垣市	区	47.3	畑かん施設工A=47.3ha	517,000	H25-H29
13	野呂水第2	石垣市	区	36.8	畑かん施設工A=36.8ha	322,000	H26-H30
14	久字良	石垣市	市	16.6	農業用排水施設A=16.6ha	178,000	H26-H29
15	村中第2	石垣市	市	31.1	農業用排水施設A=31.1ha	316,000	H26-H30
16	開南	石垣市	市	26.1	農業用排水施設A=26.1ha	90,000	H26-H30
	小計	8地区		-		2,499,000	
農山漁村活性化対策整備事業(旧土地総型)【小規模な受益地に対して、農業生産基盤施設を整備する】							
17	大弥原	石垣市	区	7.0	農業用排水施設A=7.0ha、区画整理 5.5ha	268,000	H24-H28
	小計	1地区		-		268,000	
地域農業水利施設ストックマネジメント事業【水利施設の予防保全診断・保全計画を策定し、施設の状況に応じたきめ細かい対策を講じる】							
18	石垣島	石垣市	区	1,100.0	減圧施設：4基、減圧施設：(埋設①)19基 (埋設②)15基 付帯工事：一式	300,000	H26-H30
	小計	1地区		-		300,000	
基幹水利施設管理事業(県営)【基幹的で大規模の農業用水利施設の適正な管理を行う】							
19	底原	石垣市	県	-	底原ダム管理 一式	1,364,323	H9～
20	川良原	石垣市	県	-	平喜名堰管理 一式	132,710	H9～
21	名蔵	石垣市	県	-	名蔵ダム管理 一式	928,335	H11～
	小計	3地区		-		2,425,368	
基幹水利施設管理事業(団体営)【基幹的で小規模の農業用水利施設の適正な管理を行う】							
22	平喜名	石垣市	市	-	平喜名揚水機場管理 一式	488,790	H9～
	小計	1地区		-		488,790	
国営造成施設管理体制整備促進事業(管理体制整備型)【農業水利施設の多面的機能を発揮させ、管理体制の整備を図る】							
23	石垣島	石垣市	県・市	4,220.0	石垣島土地改良区が管理する国営造成施設及び国営附帯県営造成施設管理 一式	1,116,132	H12-H29
	小計	1地区		-		1,116,132	
	計	23地区		-	県営11地区 17,102,906千円、団体営12地区 4,671,922千円	21,774,828	

(3) 農地及び農業用施設の保全

農作物や農業用施設を台風などの災害から未然に防止する防風林帯や防波堤等の保全整備を推進する。



農地護岸



水兼農道



防風施設工

番号	地区名	市町村	事業主体	受益面積 (ha)	全体		工期
					事業量	事業費 (千円)	
県営農地保全整備事業(防風施設)【暴風から農地侵食を防ぐ】							
1	みやらがわ第1	石垣市	県	81.4	防風施設 L=4,400m	393,487	H19-H28
2	みやらがわ第2	石垣市	県	89.0	防風施設 L=4,242m	427,803	H20-H29
3	みやらがわ第3	石垣市	県	105.9	防風施設 L=4,600m	423,907	H21-H30
4	みやらがわ第4(1期)	石垣市	県	102.4	防風施設 L=5,547m	304,147	H22-H26
5	みやらがわ第5(1期)	石垣市	県	97.5	防風施設 L=3,362m	200,400	H25-H29
6	みやらがわ第6(1期)	石垣市	県	86.3	防風施設 L=4,369m	449,000	H26-H35
	小計	6地区		-		2,198,744	
団体営農地保全整備事業(防風施設)【暴風から農作物等の被害を防ぐ】							
7	佐久田1期	竹富町	町	71.5	防風施設工 L=3,330m	195,900	H23-H26
8	波照間西	竹富町	町	88.9	防風施設工 L=3,752m	253,000	H25-H30
9	割目	与那国	町	15.1	防風施設工 L=780m	47,000	H25-H27
	小計	3地区		-		495,900	
	計	9地区		-	県営6地区 2,198,744千円、団体営3地区 495,900千円	2,694,644	

(4) 農山漁村の地域社会の維持・向上

農業生産基盤と生活環境を一体的に整備し、集落の活性化を図る。また、食料の安定供給や農村の振興、農地・土地改良施設の多面的機能の良好な発揮や地域住民活動の活性化を図るための支援を行う。



遊歩道



猪防護柵



集落排水施設



ふる水基金活動

番号	地区名	市町村	事業主体	受益面積 (ha)	全体		工期
					事業量	事業費 (千円)	
農業集落排水事業【集落の生活雑排水を処理する】							
1	石垣東部	石垣市	市	134.7	管路施設 L=21,911m、処理施設 一式	2,586,140	H19-H26
	小計	1地区		-		2,586,140	
団体営中山間地域総合整備事業【中山間地域の総合的な生活環境を整備する】							
2	石垣北部	石垣市	市	119	農道 L=8,333m、農用地の改良・保全A=26.0ha、農業集落道 L=610m 営農飲雑用水 5箇所、農業集落排水 L=583m、集落防災安全施設 24基	1,017,000	H19-H26
3	西表西部	竹富町	町	152.4	農道 L=713m、鳥獣侵入防止 L=24,711m、農用地の改良・保全 L=3,185m 農業集落道 L=1,000m、農業集落排水施設 L=1,480.4m、 集落防災安全施設 11基、営農飲雑用水施設 1箇所	826,530	H21-H26
	小計	2地区		-		1,843,530	
団体営農業基盤整備促進事業【農地・農業水利施設等の整備を実施し、精算効果の向上を図り、農業競争力の強化を図る】							
4	石垣第2	石垣市	市	126.5	農作業道 L=5,300m、暗渠排水 A=0.9ha、農業用排水L=1,400m 農用地の保全L=2,100m	415,000	H26-H28
5	石垣第3	石垣市	区	28.5	農業用排水 L=1,000m、暗渠排水 A=15.4ha、基盤入れ替えA=1.8ha 客土A=2.1ha	200,000	H26-H27
6	竹富町	竹富町	町	279.2	農道工 L=6,000m、暗渠排水 A=2.0ha	150,000	H26
7	与那国	与那国町	町	102.8	農業用排水路工 L=840m、畦畔補修 L=1,629m、 農道舗装工 L=14,407.5m	501,180	H25-H26
	小計	4地区				1,266,180	
中山間地域等直接支払交付金【農業生産の維持を通じて、中山間地域等における耕作放棄の発生を防止し、多面的機能を確保する】							
8	与那国 (第3期)	与那国町	町	444.0	水路・河川等の清掃活動、集落環境整備、耕作放棄地防止活動等	86,260	H22-H26
	小計	1地区		-		86,260	
耕作放棄地再生利用緊急対策交付金【耕作放棄地を営農可能な状態にするための取組や必要な施設等の整備、農地利用調整、営農開始後のフォローアップ等を行う】							
9	全3地区	石垣市・竹富町・与那国町	地域協議会	-	再生利用活動、施設等保管整備	130,205	H21-H26
	小計	3地区		-		130,205	
農地・水・保管理支払交付金【集落活動による農地周りの水路、農道等の町寿命化を図る】							
10	石垣第1	石垣市	各団体	745.0	農業用施設の維持管理作業及び環境保全活動等	60,385	H24-H28
11	石垣第2	石垣市	各団体	2759.0	農業用施設の維持管理作業及び環境保全活動等	186,280	H26-H30
12	波照間	竹富町	各団体	119.0	農業用施設の維持管理作業及び環境保全活動等	10,675	H26-H28
	小計	3地区		-		257,340	
ふるさと農村活性化基金(ふる水)事業【地域住民活動の活性化を図ること、土地改良施設の多面的機能のPRを目的とする】							
13	全3活動	石垣市・竹富町	各団体	-	植栽活動1件、イベント型広報活動2件	-	H26
	小計	3地区		-		-	
	計	16地区		-		6,169,655	

(5) グリーン・ツーリズムの推進

八重山の自然環境に魅力を感じ観光入客数は増加してきたが、ここ数年は八重山を訪れる観光客は減少傾向にある。一方、自然や人々とのふれあいを求める教育旅行の修学旅行は増えつつある。このような中、農業経営の多角化による農家所得の向上を図るため、平成16年に発足したグリーン・ツーリズム研究会が、訪れる観光客や都市地区に住む人に農業及び農村の魅力を伝えつつ体験を提供している。

グリーン・ツーリズム研究会では、魅力ある農家のくらし体験、農業体験のメニュー開発に取り組みグリーン・ツーリズムマップを作成したり、インターネット等を通して活動のPRを行っている。



黒糖作り体験



石垣市産業祭り

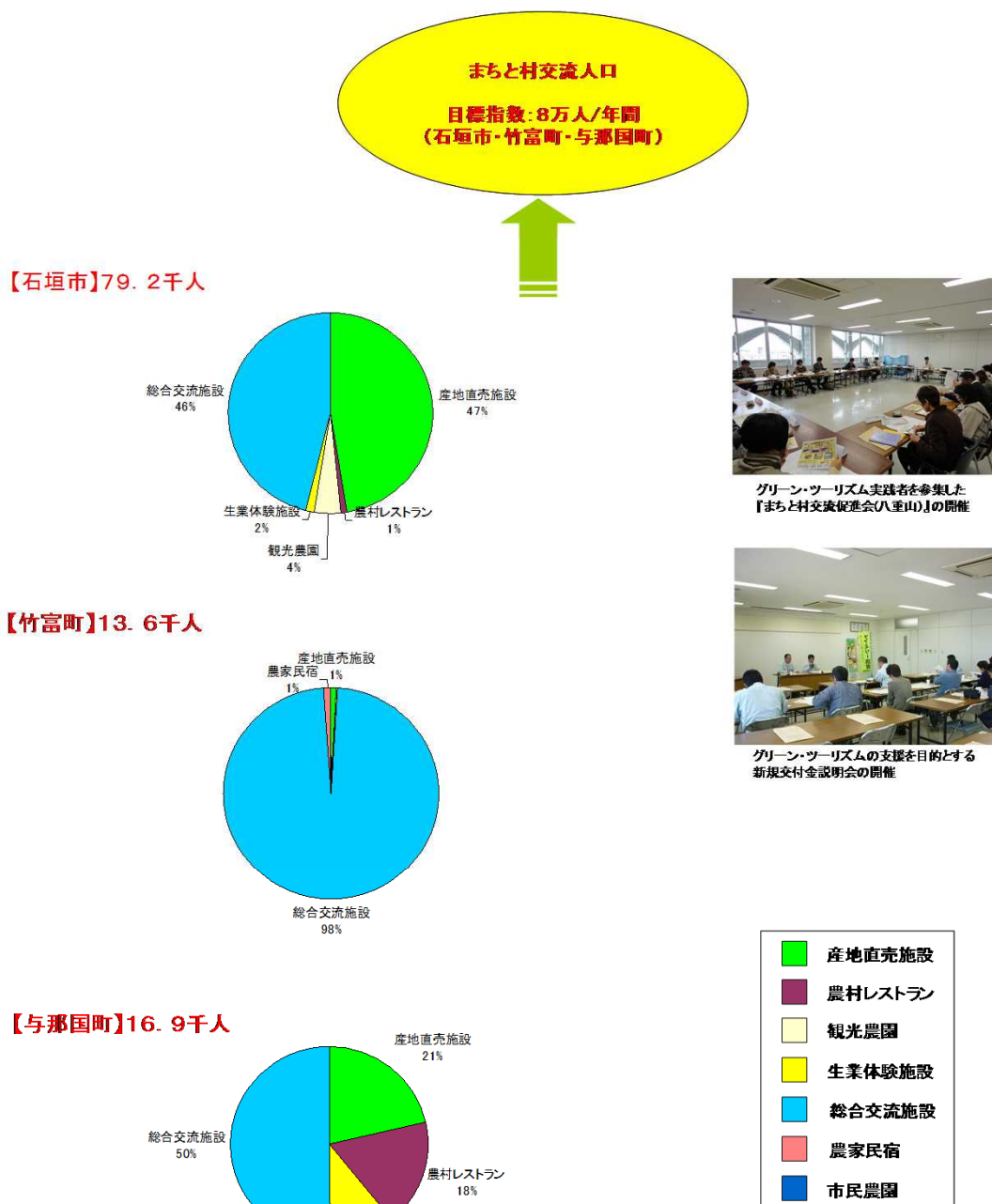


モチ作り体験

【八重山のグリーンツーリズムメニュー】

メニュー	内 容
調理体験による伝統的食文化体験	郷土料理の体験は石垣島の特徴ある食材（あだんの新芽、オオタニワタリの新芽等）を活かした調理体験と、暮らしの知恵を取り入れた丸ごと八重山の暮らしを体験できる内容になっており、ホットなもてなしで石垣島のあたたかさを伝えている。
農業体験	県外からの修学旅行生や八重山地域内の学校と連携し、学生に対してさとうきびや野菜等の植え付けや収穫体験を提供している。また花き農家は、草花等の寄せ植え体験メニューを提供している。
農村喫茶	マンゴー・パイナップル・パッションフルーツ・パパイヤ等の熱帯果樹を栽培している会員は、それぞれの果実の旬の時期に果汁100%の生ジュースを提供することで、八重山地域の熱帯果樹のPRに貢献している。

《平成23年度 まちと村交流施設の市町村別構成比》



資料：沖縄県農林水産部村づくり計画課

(6) 赤土等流出防止対策

沖縄県は、侵食性の高い土壌が広く分布し、降雨強度が高く、また河川から海域までの延長が短く急な地形が多いなどの自然条件から、土壌浸食に対する危険性の高い地域となっている。そのため、雨が降ると赤土等が大量に流れ出し、河川・海域を赤く染める「赤土等流出」が、水域の生態系、水産業、観光産業などへ悪影響を及ぼしており、重大な環境問題の一つとなっている。

平成7年には「沖縄県赤土等流出防止条例」を施行して、一定以上の開発行為に対し規制を設ける等、赤土対策を強化してきたが、既存農地等については条例の規制対象外であり、赤土等の流出防止対策にかかる個々の農家の費用負担や労力の問題があるために、対策が難しい状況にある。

そのため、県では農地からの赤土等流出防止対策を重要な課題とし、その対策を図るため、ハード・ソフト対策の連携を取りつつ、カバークロープの導入や「土壌保全の日」の活動を通して農家への赤土等流出対策の啓発・普及等を実施してきた。平成14年度から平成16年度には「流域環境保全農業確立体制整備モデル事業」を石垣市轟川流域を対象に「モデル試行対策」を実施し、平成17年度から平成19年度には石垣島全域を対象に「土地利用者参加による赤土等流出総合対策開発事業」を実施している。現在は、平成19年度に策定された「石垣島赤土等流出防止農地対策マスタープラン」の数値目標を達成するために、営農対策及び土木対策により総合的な赤土等流出防止に取り組むとともに、平成22年度には「竹富町赤土等流出防止農地対策マスタープラン」が西表島と小浜島で策定され、離島地域の赤土等流出防止推進を図っている。

赤土等流出防止農地対策のイメージ図



番号	地区名	市町村	事業主体	受益面積 (ha)	全体		工期
					事業量	事業費 (千円)	
県営水質保全対策事業(耕土流出防止型)【農地からの耕土流出を防ぐ】							
1	石垣市第5	石垣市	県	150.0	勾配修正 A=1.2ha、植生工 L=11,186m、排水路工 L=10,832m 沈砂池工 8基	881,000	H18-H26
2	石垣市第6	石垣市	県	250.3	グリーンベルト工 L=2,076m、排水路工 L=5,153m、畦畔工 L=1,633m	545,000	H19-H26
3	磯辺川第2	石垣市	県	145.6	排水路工 L=5,377m、グリーンベルト工 L=8,409m、畦畔工 L=2,898m 沈砂池工 7基、土層改良工 A=3.1ha	707,000	H20-H27
4	石垣市第7	石垣市	県	172.6	沈砂工 10基、排水路工 L=3,600m、グリーンベルト工 L=3,200m、 畦畔工 L=2,900m、土層改良工 A=10.0ha、軽微な改良 一式	585,000	H20-H27
5	磯辺川第3	石垣市	県	54.9	沈砂工 3基、浸透池 1基、排水路工 L=4,512m グリーンベルト工 L=1,500m、畦畔工 L=500m、土層改良工 A=14.6ha	292,000	H21-H27
6	新川第1	石垣市	県	133.7	沈砂池 6基、排水路工 L=9,920m、植生工 L=5,730m、土層改良工 A=3.2ha、流出防止 工 L=620m、勾配修正工 A=2.1ha、軽微な改良 2基	680,000	H21-H27
7	新川第2	石垣市	県	160.8	排水路工 L=7,007m、グリーンベルト工 L=11,990m、畦畔工 L=5,740m 沈砂池工 16基(改修3基)、浸透池工 3基	908,000	H22-H27
8	波照間第4	竹富町	県	88.9	勾配修正 A=3.2ha、排水路工 L=10,239m、植生工 L=10,954m 畦畔工 L=7,028m、沈砂池工 4基、浸透池工 2基	766,000	H22-H28
9	小浜	竹富町	県	88.5	排水路工 L=6,145m、グリーンベルト工 L=9,045m、畦畔工 L=5,369m 沈砂池工 9基、浸透池工 1基	478,000	H23-H28
10	新川第3	石垣市	県	210.3	排水路工 L=2,167m、グリーンベルト工 L=6,455m、畦畔工 L=2,714m 路面保護工 L=240m、沈砂池工 3基、営農連携業務 一式	372,000	H24-H29
11	白保	石垣市	県	218.8	排水路工 L=11,270m、グリーンベルト工 L=10,265m 畦畔工 L=3,650m、浸透池工 8基	881,000	H24-H29
12	新川第4	石垣市	県	124.8	排水路工 L=11,165m、グリーンベルト工 L=13,955m、土層改良 A=20.0ha 沈砂池工 1基、浸透池工 6基、営農連携事業 一式	961,000	H25-H30
小計	12地区		-		県営12地区 8,041,000千円	8,056,000	

赤土等流出防止のための様々な対策(工種)



勾配修正



グリーンベルト



沈砂地



透水型畦畔

7 農地法及び農地転用許可制度

(1) 農地法の目的

農地法は、国内の農業生産の基盤である農地が現在及び将来における国民のための限られた資源であり、かつ、地域における貴重な資源であることにかんがみ、耕作者自らによる農地の所有が果たしてきている重要な役割も踏まえつつ、農地を農地以外のものにすることを規制するとともに、農地を効率的に利用する耕作者による地域との調和に配慮した農地についての権利の取得を促進し、及び農地の利用関係を調整し、並びに農地の農業上の利用を確保するための措置を講ずることにより、耕作者の地位の安定と国内の農業生産の増大を図り、もって国民に対する食料の安定供給の確保に資することを目的としている。

(2) 農地転用制度の目的

農地法に基づく農地転用制度は、計画的かつ合理的な土地利用を促進する観点にたつて、農業以外の土地利用計画との調整を図りつつ、優良農地を確保することによって、農業生産力の維持と農業経営の安定を図り、もって健全な経済の推進に寄与することを目的としている。

【農地法第4条】

農地を農地以外にすることを規制している。

【農地法第5条】

農地を農地以外のものにするため、又は採草放牧地を採草放牧地以外のものにするため（農地にする場合を除く）に、所有権を移転し、または使用収益を目的とする権利（賃借権、地上権、永小作権、質権、使用貸借による権利等）の設定、移転をすることを規定している。

(3) 八重山管内の概況

平成25年度の八重山管内の農地転用許可申請件数は、前年度の33件（農地法4条許可8件、同5条許可25件）から増加し43件（農地法4条許可14件、同5条許可29件）となっている。

転用面積については、前年度の53,917.93㎡に対し61,519.52㎡と増加となっている。

(4) 用途別許可件数

平成25年度の農地法第4条及び第5条許可の用途別許可件数は次のとおりとなっている。

4条許可については住宅用地及び農林水産業用施設用地が3件ずつ、工業用地が2件、道水路用地が1件、その他建物用地が5件となっている。

5条許可については、住宅用地が14件で最も多く、次いでその他建物用地が8件となっている。

農地法第4条許可数(転用目的別)の推移

単位:件数(㎡)

転用用途	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
農家住宅	1 (450.00)		2 (1,189.00)	2 (1,292.00)	2 (1,021.00)
一般個人住宅	2 (785.00)			2 (1,010.00)	
集合住宅その他		1 (851.00)		1 (1,411.00)	1 (950.00)
鉱業・工業用地					2 (3,447.94)
学校用地					
公園・運動場用地					
道水路・鉄道用地	1 (109.00)	1 (548.00)	1 (604.11)		1 (129.00)
農林水産業用施設用地		5 (10,535.50)	1 (291.50)	1 (400.00)	3 (11,664.58)
その他建物用地	1 (201.00)	1 (5,070.00)		2 (7,212.00)	5 (9,159.00)
植林					
その他分類不能・不明					
合計	5 (1,545.00)	8 (17,004.50)	4 (2,084.61)	8 (11,325.00)	14 (26,371.52)

農地法第5条許可数(転用目的別)の推移

単位:件数(m²)

転用用途	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
農家住宅	2 (1,407.00)	1 (200.00)	1 (442.00)	1 (738.00)	
一般個人住宅	14 (6,151.00)	12 (6,959.00)	15 (5,350.09)	13 (5,818.00)	14 (4,697.00)
集合住宅その他	4 (5,693.82)		10 (5,656.44)	1 (453.00)	
鉱業・工業用地	3 (5,673.00)	6 (16,475.00)	1 (4,978.00)	2 (2,339.00)	4 (22,801.00)
学校用地					
公園・運動場用地					
道水路・鉄道用地	1 (340.00)	1 (414.00)			1 (280.00)
農林水産業用施設用地		5 (2,677.00)	1 (73.12)	1 (990.00)	2 (886.00)
その他建物用地	6 (5,086.00)	13 (9,732.00)	5 (4,677.00)	7 (32,254.93)	8 (6,484.00)
植林					
その他分類不能・不明	2 (1,322.00)	1 (3,908.00)			
合計	32 (25,672.82)	39 (40,365.00)	33 (21,176.65)	25 (42,592.93)	29 (35,148.00)

資料:八重山農林水産振興センター

8 気象災害

【平成26年 台風第8号】

7月4日09時にマリアナ諸島で発生した台風8号は、発達しながら北西に進み、4日21時には、中心気圧975hPa、最大風速35m/sの強い勢力となった。台風はその後も発達を続けながら時速25kmで北西に進み、5日21時には、沖ノ鳥島近海で、中心気圧945hPa、最大風速45m/sの非常に強い勢力となった。そして、7日03時には、フィリピンの東で、中心気圧930hPa、最大風速50m/sの大型で非常に強い勢力と最も発達した状態となった。台風はその後も大型で非常に強い勢力を維持したまま、8日09時には宮古島の東北東約80kmを北に進み、8日15時には久米島の西約110kmを北に進んだ。9日00時にはやや勢力を弱め、久米島の北北西約260kmで、中心気圧950hPaの大型で強い勢力となり更に北上した。

【平成26年 台風第19号】

10月3日21時にマーシャル諸島で発生した台風第19号は西寄りに進み、7日21時には猛烈な勢力となった。台風はさらに西進を続け、8日03時には中心気圧が900hPa、最大風速60m/sと最も発達した。9日03時には徐々に進路を北寄りに変え、10日00時には大型で猛烈な台風となった。その後、大型で非常に強い勢力を維持したまま、沖縄本島地方や大東島地方を暴風域に巻き込みながら、12日00時30分頃、沖縄本島地方を通過し東シナ海へ抜けた後、進路を北東に変え九州方面へ進んだ。沖縄本島地府尾は、約1日半暴風域に入り、長時間非常に強い風が吹いた。

資料:石垣島気象台

台風第8号による被害状況(耕種・施設・畜産)の概況

①八重山地域

被害額:千円

項目	石垣市	竹富町	与那国町	合計
耕種	さとうきび	31,659	5,044	36,703
	野菜	10,868		10,868
	花き	1,632		1,632
	果樹	6,330	355	6,685
	その他作物	27		27
	計	50,516	5,399	0
施設	農地・農業用地施設関係			0
	ハウス等施設関係			5,788
	計	0	0	0
畜産	施設等被害			0
	家畜			0
	計	0	0	0
合計	50,516	5,399	0	55,915

②市町村別

【石垣市】

項目		被害面積等 (ha)	被害量 (トン・本)	被害額 (千円)	備考
耕種	さとうきび	1,390.0	1,468.9	31,659	
	野菜	12.1	22.3	10,868	オクラ・スイカ・キュウリ等
	花き	9.5		1,632	ジンジャー・ヘリコニア等
	果樹	35.3	8.7	6,330	マンゴー・バナナ等
	その他作物	0.3	0.1	27	水稻
	計	1,447.2	1,500.0	50,516	
施設	農地・農業用地施設関係				
	ハウス等施設関係				
	計	0.0	0.0	0	
畜産	施設等被害				
	家畜				
	計	0.0	0.0	0	

【竹富町】

項目		被害面積等 (ha)	被害量 (トン・本)	被害額 (千円)	備考
耕種	さとうきび	413.7	234.0	5,044	
	野菜				
	花き				
	果樹	3.0	0.1	355	マンゴー
	その他作物				
	計	416.7	234.1	5,399	
施設	農地・農業用地施設関係				
	ハウス等施設関係				
	計	0.0	0.0	0	
畜産	施設等被害				
	家畜				
	計	0.0	0.0	0	

台風第19号による被害状況(耕種・施設・畜産)の概況

①八重山地域

被害額：千円

項目		石垣市	竹富町	与那国町	合計
耕種	さとうきび				0
	野菜	1,180			1,180
	花き				0
	果樹				0
	その他作物				0
	計	1,180	0	0	1,180
施設	農地・農業用地施設関係				0
	ハウス等施設関係				5,788
	計	0	0	0	5,788
畜産	施設等被害				0
	家畜				0
	計	0	0	0	0
合計		1,180	0	0	1,180

②市町村別

【石垣市】

項目	被害面積等 (ha)	被害量 (トン・本)	被害額 (千円)	備考	
耕種	さとうきび				
	野菜				
	花き	4.8	1.8	1,180	オクラ、ニガウリ
	果樹				
	その他作物				
	計	4.8	1.8	1,180	
施設	農地・農業用地施設関係				
	ハウス等施設関係				
	計	0.0	0.0	0	
畜産	施設等被害				
	家畜				
	計	0.0	0.0	0	

※台風11号・12号・18号による被害（耕種・施設・畜産）は報告されていない。

※被害額等は暫定値（速報値）を含む。